

# 江戸時代後期における出島貿易品の基礎的研究

## — 天保 15 年（1844）を事例として —

石田 千尋

「鶴見大学紀要」第 54 号 第 4 部

人文・社会・自然科学編（平成 29 年 3 月）別刷

## 江戸時代後期における出島貿易品の基礎的研究

### —天保15年(1844)を事例として—

石 田 千 尋

#### はじめに

山脇悌二郎氏の論考「スタット・ティール号の積荷—江戸時代後期における出島貿易品の研究—」(『長崎談叢』第49輯、昭和45年)は、江戸時代の日蘭貿易、特にオランダ船の輸入品に関する研究の嚆矢といえる。山脇氏は本論考の中で、オランダ側史料と日本側史料とが「結びついたとき、はじめてこの研究は軌道に乗りはじめたといえよう。」<sup>(1)</sup>と述べられているが、この姿勢は山脇氏の対外関係史研究の随所にあらわれている。

山脇氏の本論考は、天保15年(1844)に長崎に来港した定例のオランダ貿易船スタット・ティール号Stad Thielの積荷物に関する基礎的事例研究であり、「天保雑記」第五十六冊(国立公文書館所蔵内閣文庫)に所収されている同船の積荷目録を掲げ、各品目について内外の史料・辞典類を参照して詳細な注解をくわえられたものである。しかし、本論考は作成された当時の研究環境もあり、上掲の積荷目録に照合するオランダ側史料は活用されないで終わっている。そのため、山脇氏は「積荷目録のそれぞれの品目が、「送り状」その他では、どう記されていたかを知ることが、上述のように先決課題である」<sup>(2)</sup>と注記されている。その後、山脇氏は天保15年のオランダ側史料に関する調査・研究を発表されることはなかったが、上掲論考を発表された10年後、『長崎のオランダ商館』(中央公論社、昭和55年)をまとめられ、江戸時代の日蘭貿易および貿易品に関する体系的研究を報告されている。さらにその後、『近世日本の医薬文化』(平凡社、平成7年)、『事典絹と木綿の江戸時代』(吉川弘文館、平成14年)を著され、国内の商品と共にオランダ船の輸入薬や絹織物・綿織物を個別に調査研究された成果を発表された。これら山脇氏の研究は、江戸時代の貿易品を調査研究する上において、現在不可欠の研究業績となっている。

このようにみえてくると、江戸時代のオランダ船輸入品研究の出発点といえる山脇氏の上掲論考で「先決課題」と記された天保15年のオランダ側史料を調査・検討し、日本側史料と照合していく作業は、今後のオランダ船の貿易品、さらに日蘭貿易の研究にとって必要不可欠な基礎的課題といえよう。

本稿は、以上の視点より、「天保雑記」第五十六冊に所収されている天保15年のオランダ船の積荷目録をめぐるオランダ側史料と日本側史料とを調査・検討し、同年のオランダ船の持ち渡り品の彼我の用語を明らかにすると共に、それらの取引を解明し、この年の日蘭貿易について言及するものである。

#### 第1章 天保15年のオランダ船積荷目録

##### —「天保雑記」第五十六冊所収「積荷目録」—

山脇氏が活用された「天保雑記」第五十六冊所収のオランダ船の「積荷目録」を翻刻して掲げると史料1のようである。「天保雑記」は、江戸下谷で剣術指南を家業とするかたわら多彩な記録や情報を書きとめた藤川貞(号は整齋ほか。1791~1862)の著作物と推定される。その内容は、天保2年(1831)より同15年(1844)までの諸記録や見聞記が、ほぼ年代順に記されており、なかには宝暦・安永・天明・寛政・文化・文政および弘化・嘉永の記事も一部収録されているものである。<sup>(3)</sup>

「天保雑記」第五十六冊は長崎関係の記事が多く、天保15年のオランダ商館長ビックP. A. Blikの江戸参府や、スタット・ティール号の入港手続書類の和訳、オランダ風説書、別段風説書、そして、7月2日(西暦8月15日)長崎港に入津したオランダ国王の使船パレンバン号Palembang関係の記事などがその大半をしめている。<sup>(4)</sup>オランダ船の「積荷目録」は、山脇氏も指摘されるように、写しを重ねたものと思われ、特にカタカナ書きの商品名に誤写が見られる点に注意を要するが、本方荷物・脇荷物・詔物<sup>(5)</sup>のリストをまとめて掲げていることなど、史料価値の高いものとして評価できよう。18世紀末から19世紀前半にかけてのオランダ船の「積荷目録」で、1年度分の本方荷物・脇荷物・詔物のリストを全て掲載する史料としては、管見の限り、杏雨書屋や早稲田大学図書館・金沢市立玉川図書館・愛日教育会・古河歴史博物館・長崎歴史文化博物館等に所蔵されていることを確認しているが、天保15年に関しては、「天保雑記」第五十六冊所収の「積荷目録」が唯一といえよう。特に、詔物のリストに関しては現時点において他に所蔵されているものを見ていない。

そもそもオランダ船の「積荷目録」とは、オランダ

一 ホルトカル油	百フラスコ	一 エキセルセチーレケレメント	一 ボイセンプロック
一 硝子器	七十四箱	一 テルフェルトアルチルレリイ	一 テイツケルケレイ子オールロク
一 焼物類	十三箱ト八籠	一 ボフキコンデ	一 堀田摂津守様御詔
一 萬力	壹箱	一 清水様御詔	一 騎馬筒
一 鏡	貳箱	一 い皿紗	一 劍付筒
一 敷物	壹箱ト六包	一 ろ同	一 劍付ヤアガルビユクス
一 時計并小マ物類	五箱	一 水野越前守様御詔	一 萬力
一 羊角燈籠	壹箱	一 昼夜遠目鏡	一 火繩挾
一 カブリ	拾五箱	一 星目鏡	一 同雨覆
一 藤ノ杖	十箱	一 セスセルエルムスト	一 タナセーラコシ
一 セ子ーコル	三箱	一 ヒユルウエルチン	一 コムエラストイーキ
一 赤葡萄酒	袋	一 エキセルセチーレケレメント	一 サルヘートルシエルヒユスメット
一 コーヒイ豆	三箱	一 フェスチンクアルチルレリイ	一 ボイセンスグムブル
一 タマリンデ	三箱	一 ビユセルハントレイデング	一 ボイセンステーゲル
御用御詔 <sup>アラヒ</sup>	壹冊	一 フラールカントルオフシール	一 ブリツチテングトル
一 船海家曆	壹冊	一 デイツケルダクテイーキ	一 同
一 咬啗吧曆	三反	一 テルテイクトワシベンス	一 ボイセンセツトル
一 猩々緋	二十壹端	堀田備中守様御詔	一 ホイセントムル
一 色海黄	四十九端	一 劍付ヤ、カルビユクス	一 ラートスコツフル
一 嶋海黄	百二十四端	一 騎馬筒	一 ユイセレンボルオムスラグ
一 壹番新織奥嶋	七十八端	一 萬力	一 トットサスポウル
一 奥嶋	百反	一 セツセルエルムストユール	一 メイセルトツトフレットホル
一 白金巾	百五十反	一 ウエルカン	一 伊沢美作守様御詔
一 い皿紗	一冊	一 セイアユイン	一 水牛皮
一 シカラシホオルスト	二冊	一 スロットスカルルフ	一 胴薬入
一 フロインフオール	一冊	真田信濃守様御詔	
一 シーシンヂン	一冊	一 遂石切道具	
一 オイトリユステイング	一冊	一 ボヒセンテレツケル	
一 スツート	一冊		
一 アーンハングユル	一冊		

出典・「天保雜記」第五十六冊（『内閣文庫所藏史籍叢刊』第三十四卷、汲古書院、昭和五十八年、六五四～六五五頁）。

註・史料1では、史料上の訂正はおこなわず下掲の表の中で示す。

## 史料1 天保十五年 オランダ船の積荷目録

本方荷物				
大羅紗類	五拾八反	一	コロソポウ	八十三斤
婦羅多類	貳拾八反	一	ボテクツハス	拾斤
ころふくれん類	三拾三反	一	ベテトノナ葉	拾斤
テレフ類	九反	一	シヨシヤム	二十一斤
但毛紋天鷲絨之事		一	メントキリスフ葉	四十二斤
小羅紗類	貳拾反	一	垂麻仁	同
羅背板類	同	一	ミコルフスシニイフナ	拾斤
赤金巾	五拾反	一	テヒスインフメリナールス	六合
尺長上皿紗	貳百六反	一	テリヤアカ	壺合
弁柄皿紗	六百反	一	細末イベカコアナ	三百罐
皿紗	千反	一	ホヲマンズドロツフ	同
奥嶋類	千三百反	一	スフリーテス	七十五瓶
白砂糖	四十八万三千三百三十四斤	一	ニテイリトルシス	百瓶
蘇木	四万四千式十八本	一	薄荷油	十瓶
錫	壹万三百六十三斤程	一	オスセンカル	十瓶
荷包鉛	三百式十斤	一	エキスタラクトシナーク	貳十瓶
丁子	五千三百四斤	一	同ヒコシヤームス	貳百瓶
胡椒	九千九百九十壹斤	一	同ヘラトーナ	拾二瓶
茴香	壹万四千式十二斤	一	テレメンティン	百瓶
紫檀	九千八百七十五斤	一	パルサムコッパイハ	五十瓶
水銀	千三百九十二斤	一	アマリタスプリコムヒイ	十瓶
肉豆蔻	四百四十三斤	一	アマントル油	二十瓶
象牙	千八百九十壹斤五合	一	サルアルモ、カツタ精氣	十六瓶
銀錢	三千五百	一	トーフルスブートル	一瓶
當辰年脇荷物		一	サボン	貳千九百五十斤
エイスランスモス	八百七十二斤	一	サフラン	百五十一斤
キナ	千六百五十四斤	一	水牛角	四千五百七十五斤
アラヒヤコム	千六百三十四斤	一	水牛爪	五百四十三斤
マグチシヤ	五百四十六斤	一	カヤブーテ油	二百四十九フラスコ
オクリカンキリ	八百二十七斤	一		
痰切	千六百五十四斤	一		
ジキタリス葉	貳百八斤	一		
サーレンソブ	四百拾四斤	一		
ウユインズテン	八十三斤	一		
ウユインステンレユール	貳百七十斤	一		
ゴムアンモニヤツク	四百十四斤	一		
マンナ	四百十四斤	一		
阿魏	三百三十一斤	一		
ゼイアユイン	三百三十一斤	一		
ヤメンシーフ	八百二十七斤	一		
カミルレ	四百十四斤	一		
センナ	八百三十三斤	一		
フリルブルーム	八百三十三斤	一		
チンジヤン	二百六十六斤	一		
サルサウバルルフ	二十一斤	一		
ズワールフルム	同	一		
ゴムテレメン	百六十六斤	一		
サルヘートル	四十三斤	一		
サスカフラス	百二十四斤	一		
シユルフスソフタ	八十三斤	一		
ボソクホフト	千五百八十八斤	一		
サルホフリーイフレスト	四瓶	一		
オーリイコロトー	拾瓶	一		
ニイフコグル	二十一斤	一		
アルテヤウナルトル	四百十四斤	一		
甘草	四十二斤	一		
ヤラツバ	四十三斤	一		
ア子イスドロツブ	四十三斤	一		
アルニカウナルトル	八十三斤	一		
アルニカブルーム	四十三斤	一		

側から提出された「送り状」の翻訳である。しかし、この時に提出されたものは、貨物を船積みして送付する際、貨物の受取人に宛てて作成された積荷明細目録である「送り状」Factuurではなく、オランダ商館長が前もって積荷の仕入値を抜かして写し取った「送り状」のコピー（Opgegevene factuur、以下、本稿では「提出送り状」と記す）であった。「提出送り状」は、出島のカピタン部屋において商館長から年番町年寄に提出され、阿蘭陀通詞をまじえて翻訳がおこなわれた。山脇氏は「いわゆる積荷目録は、正確に言えば、本方荷物、脇荷物、銀銭についての個別の翻訳書を、幕府へ進達するために一つの文書にまとめて記したものであることができる。ゆえに、いわゆる積荷目録は、オランダ側にはない独自の形式の文書である。」<sup>(6)</sup>といわれ、「とくにこの資料（＝「天保雑記」第五十六冊所収「積荷目録」）では、注文品（＝詔物）の銘をも書き加えて一目瞭然たらしめているから、この年度のすべての積荷を知るのに、はなはだ便利な資料となっている。」<sup>(7)</sup>と「天保雑記」第五十六冊所収「積荷目録」を高く評価されている。「天保雑記」第五十六冊所収「積荷目録」が果たして江戸幕府へ進達された「積荷目録」か否かについては本稿第2章において考察していきたい。

なお、天保15年のオランダ船の「積荷目録」に関しては、管見の限り表1に掲げる史料を確認している。これらの史料については、後述のそれぞれの章で検討していくが、詔物のリストに関しては、上記のように「天保雑記」以外確認できていない。

## 第2章 天保15年の本方荷物とその取引

ここでは、天保15年のオランダ船積荷物の内、日蘭貿易の中核の商品群である本方荷物とその取引を解明する日蘭双方の史料について紹介し、さらに史料批判を加えながら日蘭両史料の照合を試み、その実態を解明していきたい。

### ①送り状

天保15年6月16日（西暦1844年7月30日）長崎港に入津したオランダ船スタット・ティール号が持ち渡った本方荷物を記す「送り状」Factuurは、バタヴィアにおいて、De Resident（理事官）より長崎のオランダ商館長に宛てて1844年6月25日付けで作成されたものである。この「送り状」には数量・商品名・仕入値等の順で記されており（史料2）、バタヴィア出港時の本方荷物を知ることができる。<sup>(8)</sup>

### ②提出送り状

第1章で記したように、「送り状」は出島のカピタン部屋において商館長から年番町年寄に提出され、阿蘭陀通詞をまじえて翻訳されるわけであるが、提出されたものは、入港船が持ち渡った「送り状」ではなく、

商館長が前もって日本側に知られないように仕入値を抜かして写し取った「送り状」のコピー、すなわち「提出送り状」であった。史料3にみられるように数量と商品名だけを記した大変簡略なリストとなっている。天保15年には①で紹介した「送り状」（史料2）からこの②「提出送り状」（史料3）が作成されたと考えられる。<sup>(9)</sup>

なお、①送り状に記された商品が全て②提出送り状に記されるわけではなく、日本側にこの年、本方取引として提出する予定の商品とその数量が提示されるわけである。①送り状に記された商品の中には、長崎各所への贈り物や、翌年江戸へ持っていられる献上・進物品などが含まれていた。また、この年はlaken schairood（猩々緋）3反、armozijn（海黄）100反、taffachelassen extra fijn（新織奥嶋）122反、taffachelassen ordinaire（奥嶋）78反が將軍への詔物である「御用御詔」として使用されている。<sup>(10)</sup>

### ③積荷目録

オランダ船が持ち渡った取引にかけられる予定の本方荷物を記す日本側史料としては、第1章で考察した「積荷目録」をまず挙げるができる。天保15年に関しては、表1で掲げたように管見の限り5点の史料を確認している。この内、「浮世の有さま」第十一所収「積荷目録」と「唐船紅毛差出控」・「唐舟阿蘭陀差出帳」は本方荷物のリストの後半に「別段商法」・「別段持渡り」の項を設けている。「唐船紅毛差出控」は、薬種・荒物については商品名・数量を記しているが、末尾に「右之外、羅紗・奥寫・皿紗・金巾、此外相ひかへ不申候」と記されており、染織類を省略している。また、「唐舟阿蘭陀差出帳」は「別段持渡」の項に詔物の一部が記されるなど、正確性に欠けるところがある。おそらく後者の2点は現地長崎で「提出送り状」から翻訳された「積荷目録」もしくはその写しから商人によって写し取られた史料と推測される。

「天保十五年より安政五年雑誌」所収の「積荷目録」は、品目・数量共にかなり正確に写されており、「提出送り状」から翻訳された「積荷目録」もしくはその写しからの写しであることは間違いなが、「別象牙」や「別蘇木」などといった記述がみられ、「別段商法」・「別段持渡り」の正確な区別がされていないのが残念である。

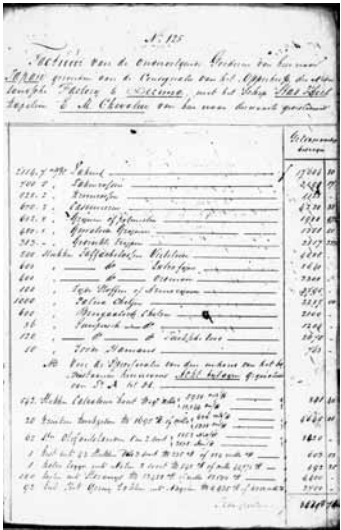
「浮世の有さま」第十一所収の「積荷目録」（史料4）は商品名・数量共に整っている。「浮世の有さま」は、著者名は不明であるが、大坂の医師によって著されたもので、文化3年（1806）から弘化3年（1846）に至るまでの見聞録である。<sup>(11)</sup> 原田伴彦氏によると「著者は奉行所関係の役人や町の惣会所の年寄らに知り合いが多く、幕府関係の公文書を見る機会があったらしく丹念に書写している。」<sup>(12)</sup> といわれており、この「積荷目録」もその一環の記事と考えられる。



表1 天保15年(1844)オランダ船「積荷目録」掲載史料

積荷の種類	史料名
本方荷物	・「天保雑記」第五十六冊(『内閣文庫所蔵史籍叢刊』第34巻、汲古書院、昭和58年、654頁) ・「浮世の有さま」第十一(国立国会図書館所蔵) ・「唐船紅毛差出控」(*某所所蔵) ・「唐舟阿蘭陀差出帳」(*某所所蔵) ・「天保十五年より安政五年雑誌」(射和文庫所蔵)
脇荷物	・「天保雑記」第五十六冊(『内閣文庫所蔵史籍叢刊』第34巻、汲古書院、昭和58年、654~655頁) ・「唐船紅毛差出控」(*某所所蔵) ・「唐舟阿蘭陀差出帳」(*某所所蔵) ・「天保十五年より安政五年雑誌」(射和文庫所蔵)
誂物	・「天保雑記」第五十六冊(『内閣文庫所蔵史籍叢刊』第34巻、汲古書院、昭和58年、655頁)

註・「\*某所所蔵」史料は、所蔵者の希望により所蔵場所の明記を控えた。



史料2 本方荷物の送り状



史料3 本方荷物の提出送り状



史料4 「浮世の有さま」第十一所収「積荷目録」



史料5 本方荷物売上計算書



史料6 落札帳(本方取引)

山脇氏が活用された「天保雑記」第五十六冊所収の「積荷目録」（以下、「天保目録」と略記する）に「浮世の有さま」第十一所収の「積荷目録」（以下、「浮世目録」と略記する）を照合すると表2ようになる。「天保目録」と「浮世目録」の最大の違いは、上記したように「浮世目録」に「別段商法」・「別段持渡り」の項が設けられていることである。また、染織品の「ころふくれん」や「奥嶋」にみられるように、「浮世目録」の方が詳細な記述となっている。数量に関しては、「天保目録」の方が秤量品目において「蘇木」と「象牙」以外多く記されている。

②「提出送り状」に照合する「積荷目録」としては、表3に示すように「浮世目録」である。「本国皿紗」の反数や「胡椒」「紫檀」の斤数などはむしろ「天保目録」の方が「提出送り状」の数量に近く問題の残るところではあるが、「別段商法」・「別段持渡り」の項目立てや品目数などからみて、「浮世目録」が「提出送り状」から翻訳された本来の「積荷目録」の形態をそなえていると考えるのが自然である。

数量の不一致については、「積荷目録」が写しであることによってまねかれた誤写なども考えられるが、この点だけではないであろう。文政9年（1826）から同13年（1830）にかけて出島商館長であったメイラン G. F. Meijlan の著『日欧貿易史概観』*Geschiedkundig Overzicht van den Handel der Europezen op Japan* の「送り状の提出」'Opgave der facturen'の項には、「送り状コピーを声を出して読む」<sup>(13)</sup>と記されている。また、明和2年（1765）の日本側史料「阿蘭陀船入津々出帆迄行事帳」の「積荷物差出和解之事」の項に、「両かひたんへとる読聞候を承、和解帳面二仕立」<sup>(14)</sup>とあり、文化14年（1811）の「万記帳」に「積荷物差出和解二付、（中略）かひたん逸々申聞候を庄太右衛門和解仕」<sup>(15)</sup>さらに、安政2年（1855）の「萬記帳」に「本方差出和解二付、（中略）かひたん開封いたし直二へとる阿蘭陀人申口逸々直組方小通詞通弁いたし候二付」<sup>(16)</sup>などあることから、「提出送り状」は「かひたん」すなわち商館長や「へとる」すなわち次席商館長によって読み上げられたことがわかる。しかし、そのまま読み上げられたのではなく、商館長や次席商館長が口頭でそのリストに追加・削除をおこなっていたのではないだろうか。この場合、商館長や次席商館長は「提出送り状」とは別に書類を用意していたことも考えられる。このようなことから、「提出送り状」と「積荷目録」の記事には若干の相違はありうるのではないかと推測される。

上記の「天保目録」が「提出送り状」からの直接の翻訳でないとする、ではどの時点で作成されたと考えればよいのであろうか。この点については、後述の取引史料との照合の結果をふまえて考えていきたい。

表2 積荷目録の照合

天 保 目 録		浮 世 目 録	
商 品	数 量	商 品	数 量
本方荷物		本方荷物	
大 羅 紗 類	58 反	大 ら し や	58 反
婦 羅 多 類	20 反	色 ふ ら た	20 反
ころふくれん類	33 反	色 呉 羅 服 連	20 反
		全 織 色 同	13 反
		色毛紋天鷲絨	9 反
テ レ フ 類	9 反		
小 羅 紗 類	20 反	色 小 ら し や	20 反
羅 背 板 類	同	色 羅 背 板	20 反
赤 金 巾	50 反	赤 達 中	50 反
尺 長 上 皿 紗	206 反	本 国 皿 紗	120 反
弁 柄 皿 紗	600 反	弁 柄 皿 紗	600 反
皿 紗	1,000 反	皿 紗	1,000 反
奥 嶋 類	1,300 反	上 奥 嶋	500 反
		新 織 奥 嶋	500 反
		相 み じ ま	300 反
白 砂 糖	483,334 斤	上 品 砂 糖	446,900 斤
蘇 木	41,028 本	蘇 木	6,365 斤
		別段商法：蘇 木	24,090 斤
		別段持渡り：蘇 木	10,910 斤程
錫	10,363 斤程	錫	7,940 斤
		別段商法：錫	2,400 斤
荷 包 鉛	320 斤	荷 包 銀	[不記]
丁 子	5,304 斤	丁 子	5,170 斤
胡 椒	9,191 斤	胡 椒	7,940 斤
茴 香	11,022 斤	別段商法：大 茴 香	10,340 斤
紫 檀	9,875 斤	別段商法：紫 檀	1,962 斤
水 銀	1,392 斤	別段商法：水 銀	1,148 斤
肉 豆 蔻	443 斤	別段商法：肉 豆 蔻	370 斤
象 牙	1,891 斤 5 合	象 牙	1,760 斤
		別段商法：三番象牙	152 斤
銀 錢	3,500	銀 錢	3,500

出典・天保目録は、「天保雑記」第五十六冊（『内閣文庫所蔵史籍叢刊』第34巻、汲古書院、昭和58年、654頁）。  
・浮世目録は、「浮世の有さま」第十一（国立国会図書館所蔵）。

#### ④本方荷物売上計算書

本方貿易で取引される本方荷物は、出島商館より長崎会所が値組の上で一括購入し、それを長崎会所が日本の商人に入札で販売することになっていた。出島商館長ビック P. A. Bik と簿記役ウォルフ Wolff の署名をもつ1844年10月31日付（出島）のKomp. rekening courant 1844（日本商館勘定帳）にはBijlaag N°. 2. Komp. verkoop 1844<sup>(17)</sup>（付録文書2 本方荷物売上計算書）が付されており、本史料により出島商館が本方荷物として長崎会所に販売した品物とその数量および価格・価額を知ることができる（史料5）。

本方取引において最終的にオランダ側（出島商館）が日本側（長崎会所）に販売した商品と数量は、この④本方荷物売上計算書によって解明されるわけであるが、それは②提出送り状に記された品目と同様ではあ

表3 天保15年(1844)オランダ船本方荷物

	Opgegeven Factuur			積荷目録	
	Goederen	Hoeveelheid	換算	商 品	数 量
(1)	laken, diverse kleuren	58 stukken	58 反	大 ら し や	58 反
(2)	lakenrassen, diverse kleuren	20 stukken	20 反	色 小 ら し や	20 反
(3)	kroonrassen, diverse kleuren	20 stukken	20 反	色 羅 背 板	20 反
(4)	kazemieren, diverse kleuren	20 stukken	20 反	色 ふ ら た	20 反
(5)	greinen, diverse kleuren	20 stukken	20 反	色 呉 羅 服 連	20 反
(6)	gewaterde greinen, diverse kleuren	13 stukken	13 反	奎 織 色 同	13 反
(7)	gedrukte trypen, diverse kleuren	9 stukken	9 反	色 毛 紋 天 鷲 絨	9 反
(8)	taffachelassen, verbeterde	500 stukken	500 反	上 奥 嶋	500 反
(9)	taffachelassen, extra fyn	500 stukken	500 反	新 織 奥 嶋	500 反
(10)	taffachelassen, ordinair	300 stukken	300 反	(左方) 相 み じ ま	300 反
(11)	Patna sitsen	1,000 stukken	1,000 反	皿 紗	1,000 反
(12)	Bengaalsche sitsen	600 stukken	600 反	弁 柄 皿 紗	600 反
(13)	Europesche sitsen	86 stukken	206 反	本 国 皿 紗	120 反
	Europesche sitsen Turksch rood	120 stukken			
(14)	roode hamans	50 stukken	50 反	赤 達 (金) 巾	50 反
(15)	olifantstanden 1 <sup>e</sup> en 2 <sup>e</sup> soort	1,760 katt.	1,760 斤	象 牙	1,760 斤
(16)	garioffel nagelen	5,170 katt.	5,170 斤	丁 子	5,170 斤
(17)	tin	7,940 katt.	7,940 斤	錫	7,940 斤
(18)	peper	10,340 katt.	10,340 斤	胡 梔 子	7,940 斤
(19)	suiker 1 <sup>e</sup> soort	446,900 katt.	446,900 斤	上 品 砂 糖	446,900 斤
(20)	sapanhout	6,365 katt.	6,365 斤	蘇 木	6,365 斤
(21)	zilveren munten	3,500 stuks	3,500 個	銀 錢 (動力)	3,500
(22)	platlood uit de manufactuur kisten	[不記]		荷 包 銀	[不記]
	voor den aparten handel			別段商法	
(23)	kaliatoerhout	9,962 katt.	9,962 斤	紫 旦	1,962 斤
(24)	kwikzilver	1,148 katt.	1,148 斤	水 銀	1,148 斤
(25)	olifantstanden 3 <sup>e</sup> soort	152 katt.	152 斤	三 番 象 牙	152 斤
(26)	noten-muscaat	370 katt.	370 斤	肉 豆 蔻	370 斤
(27)	staranys	10,340 katt.	10,340 斤	大 茴 香	10,340 斤
(28)	sapanhout	24,090 katt.	24,090 斤	蘇 木	24,090 斤
(29)	tin	2,400 katt.	2,400 斤	錫	2,400 斤
	apart aangebragt			別段持渡り	
(30)	sapanhout	10,910 katt.	10,910 斤	蘇 木	10,910 斤程

出典・Opgegeven Factuur は、'Opgegeven Nieuws, Facturen en Monsterrol 1844.' MS. N.A. Japans Archief, nr.1749(Aanwinsten, 1910, I : No.118). (Todai-Shiryō Microfilm : 6998-1-131-17)。

・「積荷目録」は「浮世の有さま」第十一(国立国会図書館所蔵)。

註・天保15年12月2日、弘化と改元。

るが、数量に異同があることは確認しておかなければならない。すなわち②提出送り状はあくまでオランダ側の販売予定リストであり、取引時には異同がおきるわけである。

#### ⑤落札帳

上記のように、出島商館より一括購入された本方荷物は、長崎会所によって日本商人に入札で販売されたが、その取引を解明するものに商人が作成した「落札帳」がある。天保15年の取引に関しては、「辰阿蘭陀船本方并脇荷物見看板直入落札控」(長崎歴史文化博物館収蔵)

(史料6)を挙げる事ができる。本史料は商人松田屋によって作成されたものと考えられ、取引にかけられた本方荷物と後述する脇荷物に関する各商品名・数量・入札上位三番札までの価格(入札最上位の札が落札価格となる)と商人名等を記録している。

本方荷物に関して上記の④本方荷物売上計算書と⑤落札帳を照合したものが表4である。考察に入る前に表4について、次のことを注記事項として掲げておく。

・本表では、各商品の品目は'Komp. verkoop' (本方荷物売上計算書)に記されている順に並べた。



表4 天保15年(1844)オランダ船本方荷物の取引

	Komp <sup>s</sup> . verkoop			
	Goederen	Hoeveelheid	販売価格 (単位: テール)	A: 販売価格換算 (本方銀)
<1>	laken schairood	46.70 ikjes	10.0 / ikje	100 匁 / 間
<2>	laken zwart l <sup>a</sup> . I	67.26 ikjes	10.0 / ikje	100 匁 / 間
<3>	laken zwart l <sup>a</sup> . Lo	16.55 ikjes	9.5 / ikje	95 匁 / 間
<4>	laken diverse kleuren l <sup>a</sup> . I	341.9 ikjes	8.0 / ikje	80 匁 / 間
<5>	(purper / violet)			
<6>	(lichtblauw)			
<7>	(aschgrauw l <sup>a</sup> . I)			
<8>	(wit)			
<9>	(grijs l <sup>a</sup> . I)			
<10>	(geel)			
<11>	laken diverse kleuren l <sup>a</sup> . Lo	129.34 ikjes	7.72 / ikje	77 匁 2 分 / 間
<12>	(olijf sensaai)			
<13>	(aschgrauw l <sup>a</sup> . Lo)			
<14>	(grijs l <sup>a</sup> . Lo)			
<15>	lakenrassen rood	3 p <sup>s</sup> .	95 / p <sup>s</sup> .	950 匁 / 反
<16>	lakenrassen zwart	1 p <sup>s</sup> .	90 / p <sup>s</sup> .	900 匁 / 反
<17>	lakenrassen purper	2 p <sup>s</sup> .	85 / p <sup>s</sup> .	850 匁 / 反
<18>	lakenrassen olijf	4 p <sup>s</sup> .	85 / p <sup>s</sup> .	850 匁 / 反
<19>	lakenrassen blauw	3 p <sup>s</sup> .	90 / p <sup>s</sup> .	900 匁 / 反
<20>	kroonrassen diverse kleuren	19 p <sup>s</sup> .	30 / p <sup>s</sup> .	300 匁 / 反
<21>	[schairood]	[4 p <sup>s</sup> ]		
<22>	[purper]	[4 p <sup>s</sup> ]		
<23>	[zwart]	[3 p <sup>s</sup> ]		
<24>	[groen olijf]	[4 p <sup>s</sup> ]		
<25>	[donker blauw]	[4 p <sup>s</sup> ]		
<26>	kasemier diverse kleuren	214.37 ikjes	5.0 / ikje	50 匁 / 間
<27>	(schairood)			
<28>	(wit)			
<29>	(aschgrauw)			
<30>	(geel)			
<31>	kasemier zwart l <sup>a</sup> . Lo	30.5 ikjes	4.8 / ikje	48 匁 / 間
<32>	grein rood	84.96 ikjes	4.5 / ikje	45 匁 / 間
<33>	grein zee groen	16.62 ikjes	4.3 / ikje	43 匁 / 間
<34>	grein zwart	16.81 ikjes	4.5 / ikje	45 匁 / 間
<35>	grein olijf	23.62 ikjes	4.3 / ikje	43 匁 / 間
<36>	grein wit	17.29 ikjes	4.3 / ikje	43 匁 / 間
<37>	grein oesoe kgakie	51.62 ikjes	4.0 / ikje	40 匁 / 間

販売価額 (単位:テール)	落札帳				
	商 品	数 量	B:落札価格 (材勘)	$\frac{B}{A}$	落札商人
467.0	辰阿蘭陀船本方 猩々緋	7反 改1反2切	239 匁 7 分 / 間	2.4	のトヤ
672.6	い黒羅紗	9反 改2反2切	243 匁 9 分 / 間	2.4	中の
157.225 2,735.2	ろ同	1反	240 匁 8 分 / 間	2.5	能登ヤ
	紫色同	4反	190 匁 9 分 / 間	2.4	余
	千艸色同	5反 改2反	229 匁 1 分 / 間	2.9	千
	い藍鼠色同	4反 改1反	242 匁 / 間	3.0	松野屋
	白同	8反 改5反1切	260 匁 / 間	3.3	余
	い霜降同	9反 改1反	188 匁 8 分 / 間	2.4	吉井ヤ
	黄同	6反 改5反1切 1切10間9合	207 匁 3 分 / 間	2.6	村上
998.5048	藍海松茶色同	改正4反	198 匁 9 分 / 間	2.6	安田ヤ
	ろ同	6反 改2反1切	233 匁 / 間	3.0	松ノヤ
	ろ霜降同	改1反	179 匁 4 分 / 間	2.3	村上
285.0	緋小羅紗	4反 改3反	2貫100匁 / 反	2.2	余
90.0	黒同	4反 改1反	1貫930匁 / 反	2.1	松のヤ
170.0	桔梗色同	4反 改2反	1貫800匁 / 反	2.1	吉井ヤ
340.0	茶色同	4反	1貫710匁 / 反	2.0	松のヤ
270.0	濃花色同	4反	1貫540匁 / 反	1.7	松のヤ
570.0	紅羅セ板	4反	753 匁 2 分 / 反	2.5	藤ヤ
	桔梗色同	4反	580 匁 5 分 / 反	1.9	△
	黒同	4反	618 匁 / 反	2.1	ふじヤ
	茶色同	4反	578 匁 / 反	1.9	此㊟
	濃華色同	4反	564 匁 / 反	1.9	小田ヤ
1,071.85	緋ふらた	5反 改3反	108 匁 9 分 / 間	2.2	村上
	白同	4反	110 匁 9 分 / 間	2.2	エ崎
	藍鼠色同	4反 改1反1切	107 匁 6 分 / 間	2.2	松のヤ
	黄同	4反	86 匁 9 分 / 間	1.7	吉梗ヤ
146.4	黒同	2反	102 匁 8 分 / 間	2.1	ノトヤ
382.32	緋こら服連	5端	64 匁 5 分 / 間	1.4	小田ヤ
71.466	ア井ミル茶色同	4反 改1反	63 匁 8 分 / 間	1.5	吉更ヤ
75.645	黒同	3反 改1端	81 匁 9 分 / 間	1.8	◇
101.566	茶色同	4反 改1反1切	70 匁 / 間	1.6	余
74.347	白同	1反	97 匁 9 分 / 間	2.3	吉更ヤ
206.48	薄柿色同	3反	74 匁 9 分 / 間	1.9	千 万ヤ

	Komp <sup>s</sup> . verkoop			
	Goederen	Hoeveelheid	販売価格 (単位: テール)	A: 販売価格換算 (木蘭)
<34>	gewaterd grein rood	86.6 ikjes	2.1 / ikje	21 匁 / 間
<35>	gewaterd grein zeegroen	139.43 ikjes	2.0 / ikje	20 匁 / 間
	gedrukte trijp diverse kleuren	156.91 ikjes	5.0 / ikje	50 匁 / 間
<36>	(schairood)			
<37>	(purper)			
<38>	taffachelassen extra fijn 1 <sup>o</sup> . soort	631 p <sup>s</sup> .	10.7 / p <sup>s</sup> .	107 匁 / 反
<39>	taffachelassen extra fijn 2 <sup>o</sup> . soort	451 p <sup>s</sup> .	10.0 / p <sup>s</sup> .	100 匁 / 反
<40>	taffachelassen verbeterde 1 <sup>o</sup> . soort	56 p <sup>s</sup> .	10.5 / p <sup>s</sup> .	105 匁 / 反
<41>	taffachelassen verbeterde 2 <sup>o</sup> . soort	40 p <sup>s</sup> .	6.7 / p <sup>s</sup> .	67 匁 / 反
<42>	roode hamans 1 <sup>a</sup> . I	45 p <sup>s</sup> .	9.1 / p <sup>s</sup> .	91 匁 / 反
<43>	roode hamans 1 <sup>a</sup> . Lo (Europesche sitsen en Turksch rood gesorteerd als:)	4 p <sup>s</sup> .	8.3 / p <sup>s</sup> .	83 匁 / 反
<44>	Nederl: sitsen 1 <sup>o</sup> . soort	70 p <sup>s</sup> .	19.3 / p <sup>s</sup> .	193 匁 / 反
<45>	Nederl: sitsen 2 <sup>o</sup> . soort	62 p <sup>s</sup> .	14.9 / p <sup>s</sup> .	149 匁 / 反
<46>	Nederl: sitsen 3 <sup>o</sup> . soort	24 p <sup>s</sup> .	12.0 / p <sup>s</sup> .	120 匁 / 反
<47>	Patna sitsen	820 p <sup>s</sup> .	2.25 / p <sup>s</sup> .	22 匁 5 分 / 反
<48>	Bengaalsche sitsen	497 p <sup>s</sup> .	3.2 / p <sup>s</sup> .	32 匁 / 反
<49>	olifants tanden 1 <sup>o</sup> . soort	1,289.7575 katties	2.5 / kattie	25 匁 / 斤
<50>	olifants tanden 2 <sup>o</sup> . soort	495.7575 katties	2.0 / kattie	20 匁 / 斤
<51>	[olifants tanden 3 <sup>o</sup> . soort]	[152.6175 katties]	[1.0 / kattie]	[10 匁 / 斤]
<52>	garioffel nagelen	4,987.03275 katties	1.5 / kattie	15 匁 / 斤
<53>	peper	8,647.75 katties	0.15 / kattie	1 匁 5 分 / 斤
<54>	tin	10,259.37 katties	0.25 / kattie	2 匁 5 分 / 斤
<55>	suiker	312,678.37992 katties	0.07 / kattie	7 分 / 斤
<56>	suiker voor de hofreis	14,372.156 katties	0.062 / kattie	6 分 2 厘 / 斤
<57>				
<58>	sapanhout	5,426.3333 katties	0.055 / kattie	5 分 5 厘 / 斤
<59>	[sapanhout]	[30,000.0 katties]	[0.055 / kattie]	[5 分 5 厘 / 斤]
<60>	platlood	220.0 katties	0.08 / kattie	8 分 / 斤
<61>	[kaliatoerhout]	[9,821.79 katties]	[0.05 / kattie]	[5 分 / 斤]
<62>	[kwikzilver]	[1,136.65125 katties]	[1.0 / kattie]	[10 匁 / 斤]
<63>	[staranijs]	[9,184.98 katties]	[0.1 / kattie]	[1 匁 / 斤]
<64>	[notenmuscaat]	[300.0 katties]	[1.0 / kattie]	[10 匁 / 斤]
<65>	[notenmuscaat]	[56.61875 katties]	[0.6 / kattie]	[6 匁 / 斤]
<66>	zilveren munten	2,512.27 t. [3,500 p <sup>s</sup> ]	2.91394 / t.	29 匁 1 分 3 厘 9 毛 4 糸 / 匁

出典・Komp<sup>s</sup>. verkoop は、Bijlaag N<sup>o</sup> 2. Komp<sup>s</sup>. verkoop 1844. (Komp<sup>s</sup>. rekening courant 1844.) MS.N.A. Japans Archief, nr.1803 (Aanwinsten, 1910, I : No.170). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-133-18)。  
 ・落札帳は、「辰阿蘭陀船本方并脇荷物見看板直入落札控」(長崎歴史文化博物館収蔵)。  
 ・[ ]内は、Rekening van den Aparten Handel 1844. (Komp<sup>s</sup>. rekening courant 1844.) MS.N.A. Japans Archief, nr.1803 (Aanwinsten, 1910, I : No.170). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-133-18)。

販売価額 (粒・テール)	落札帳				落札商人
	商 品	数 量	B:落札価格 (材額)	$\frac{B}{A}$	
181.86 278.86	緋全織同 藍海松茶色同	5 反 <del>5</del> 反 8 反	60 匁 8 分 / 間 49 匁 3 分 / 間	2.9 2.5	松のヤ 江崎
784.55					
	緋テレフ	5 反	96 匁 4 分 / 間	1.9	松のヤ
	鳶色同	4 反	64 匁 5 分 / 間	1.3	田原ヤ
6,751.7	沓番新織おくしま	709 反	290 匁 8 分 / 反	2.7	正]
4,510.0	式番同	改 611 反 460 反	281 匁 / 反	2.8	△
588.0	沓番上奥嶋	改 430 反 <del>91</del> 反	365 匁 / 反	3.5	村上
268.0	式番同	改 54 反 40 反	338 匁 / 反	5.0	此㊟
409.5	い赤金巾	<del>46</del> 反	318 匁 7 分 / 反	3.5	ふしヤ
33.2	ろ同	改 40 反 4 反	315 匁 7 分 / 反	3.8	同人
1,351.0	沓番尺長上皿紗	<del>120</del> 反 改 69 反	463 匁 / 反	2.4	松のヤ
923.8	式番同	<del>62</del> 反 改 59 反	220 匁 9 分 / 反	1.5	藤ヤ
288.0	三番同	24 反	170 匁 2 分 / 反	1.4	松本ヤ
1,845.0	更紗	改 23 反 1,000 反	59 匁 8 分 / 反	2.7	江崎
1,590.4	弁柄皿紗	改 711 反 600 反	56 匁 8 分 / 反	1.8	江崎
3,224.39375	沓番象牙	改 445 反 1,216 斤	68 匁 3 分 / 斤	2.7	松本ヤ
991.515	式番同	488 斤	64 匁 1 分 / 斤	3.2	竹のヤ 松本ヤ 永井ヤ
[152.6175]	三番同	147 斤	31 匁 / 斤	3.1	のトヤ
7,480.549125	丁子	5,304 斤	26 匁 5 分 8 厘 5 毛 / 斤	1.8	吉井ヤ
1,297.1625	胡枳	9,191 斤	2 匁 9 分 4 厘 / 斤	2.0	江崎
2,564.8425	錫	10,363 斤 7 合	9 匁 3 分 7 厘 / 斤	3.7	江崎
21,887.4865944	沓番白砂唐	200,000 斤	1 匁 8 分 9 厘 5 毛 / 斤	2.7	村上
891.073672				3.1	長田ヤ 永
	式番同	241,494 斤	1 匁 9 分 6 厘 9 毛 / 斤	2.8 3.2	永ミヤ 小田ヤ
298.4483315	蘆木	41,028 斤	4 匁 6 分 3 厘 1 毛 / 斤	8.4	村上
[1,650.0]					山中 永ミヤ
17.6	荷包鉛	1,620 斤	4 匁 4 分 5 厘 / 斤	5.6	吉更ヤ
[491.0895]	紫椀	9,874 斤	1 匁 4 分 6 厘 4 毛 / 斤	2.9	吉井ヤ
[1,136.65125]	水銀	1,392 斤	59 匁 8 分 / 斤	6.0	永ミヤ 長ヲカ
[918.498]	茴香	—	6 匁 1 分 / 斤	6.1	小田ヤ
[300.0]	肉豆冠 <sup>(盛力)</sup>	443 斤	37 匁 9 分 / 斤	3.8	長ヲカ
[33.97125]				6.3	
7,320.6040438	—	—	—		—

・〔 〕内は、Pakhuisboek rekening 1844. MS.N.A.Japans Archief, nr.1783 (Aanwinsten, 1910, I : No.233) .

(Todai-Shiryō Microfilm : 6998-1-134-38)。

・( )内は、Notitie der komp. prijzen 1844. (Komp. rekening courant 1844.) MS.N.A. Japans Archief, nr.1803 (Aanwinsten, 1910, I : No.170) . (Todai-Shiryō Microfilm : 6998-1-133-18)。

註・ $\frac{B}{A}$ は、小数点二桁以下を四捨五入して表記している。 ・落札商人欄の店印については、表8註参照。



- ・オランダ側商品名各単語の表記については、その頭文字は、地名は大文字とし、その他は小文字で記した。
- ・オランダ側商品名で用いられているd<sup>o</sup> (= 同) は、それに相当する単語を記した。
- ・数字は基本的に算用数字で記した。

この表4作成によって、天保15年の本方荷物の取引の実態が解明される。すなわち、日蘭の商品名・数量と共に各商品を購入した日本商人まで明らかになる。また、各商品に関して、出島商館が長崎会所に販売した価格（A:販売価格換算）と長崎会所において日本商人が落札した価格（B:落札価格）がわかることより、長崎会所が各商品において単価にして何倍の収益を得ていたかが判明する（ $\frac{B}{A}$ ）。すなわち染織類では、毛織物が1.4～3.3倍、綿織物が1.3～5.0倍を示しており、秤量品目では、1.8倍の丁子から8.4倍の蘇木まで各商品によって様々な倍率を示していることがわかる。各商品の落札価額を算出して出島商館側の販売価額を引けば長崎会所における商品ごとの収益を得られるかに思えるが、残念ながら史料上、出島商館側の販売数量と商人落札数量が若干異なることや、染織類（羅紗・ふらた・こら服連・テレフ）の落札価格が反ではなく長さ（「間」）で記されているため正確な計算をすることができない。しかし、「白砂唐」が他の商品に比べて落札価額が非常に高く、600貫目前後の収益をだしていることは確かであり、長崎会所にとって利鞘の大きい商品として位置付けることができる。

視点をオランダ側に移し、出島商館が本方取引でどれくらいの収益を各商品からあげていたかについては、各商品の仕入値と長崎会所に販売した価格の差をみることによって、単価における倍率を確認することができる。「送り状」より各商品の仕入値を算出して表4で得た販売価格と比較して示したのが表5である。<sup>(18)</sup> この表からわかるようにほとんどの商品が赤字販売であり、かろうじて1倍を超える品物が「色呉羅服連」「上奥嶋」「皿紗」「弁柄皿紗」「本国皿紗」「錫」「胡椒」「上品砂糖」であり、「丁子」が2.7倍を示している程度である。この数字は本方取引以外の商品を含めた本方荷物全体の損益を計算したRekening van winst en verlies op de Komp.<sup>s</sup> artikelen, in 1844 met het schip Stad Thiel aangebragt<sup>(19)</sup> (1844年スタッツ・ティール号によって持ち渡られた会社荷物(=本方荷物)の損益計算書)(史料7)にあらわれており、最も多くの収益をあげているのは、kruidnagelen(丁子)で6,224.07グルデンであり、つづいてtaffachelassen(奥嶋)の4,103.02グルデンとなっているが、その他の黒字商品は800グルデン代以下とわずかである。また、長崎会所が本方取引で多くの収益をあげている「砂糖」はオランダ側の損益計算書では最大の損失額13,399.72グルデンを出している。これは

「砂糖」が長崎において贈り物等に使用されているためである。表5や史料7を見る限り出島商館は本方荷物では収益をあげておらず、かなりの赤字をだしていることがわかる。これは、当時の定高貿易と称する取引システムによって生じた現象である。江戸時代後

[illegible]

史料7 本方荷物の損益計算書

期の日蘭貿易においては、日本側・オランダ側双方共に取引の品物の評価を元値より低くすることによって、「取引の総額（御定高）」での取引量を多くしていた。そして、オランダ側は日本で仕入れた物資をバタヴィアを中心とするその通商圏において販売することによって収益をあげることができ、日本側すなわち長崎会所は国内商人に出島商館から仕入れた各商品を数倍で販売することによって、収益を上げ、その差額（出銀）で輸出品となる銅の差額を補い（出銀償）、長崎地下配分、幕府への上納金等を納め、会所の運営をおこなっていたのである。<sup>(20)</sup>

天保15年の日蘭貿易が一段落すると、出島商館では翌年将軍に贈る献上品、老中以下幕府高官に贈る進物品の発送準備が始められた。献上・進物品は本方荷物の中から取引前に「撰取」られた品々であり、この時はすべて反物類であった。周知のごとく、オランダ商館長の江戸参府は寛政2年（1790）の半減商売令にともなって4年目ごとにおこなうことになり、弘化2年（1845）は参府休年に当たっていた。参府休年には阿蘭陀通詞が献上・進物品を護送することになっており、この年は大通詞森山源左衛門と小通詞植村作七郎とが担当した。<sup>(21)</sup> 両通詞が江戸に持ち渡った献上・進物品と参府の帰路に販売した進物残品の価格・価額について示すと表6ようになる。この表で注意を要することは、進物残品の販売価格が、前年度、出島商館が長崎会所に販売した価格に概ね基づいてはいるが、greinen diverse kleuren〔色呉羅服連〕で1.5～1.25倍、Nederl: sitsen 1<sup>e</sup> soort〔本国皿紗〕で1.35倍を記録していることである。参府帰路におけるこの二種類の反物に対する評価が長崎売よりも高かったわけであるが、その理由については今後の課題としておきたい。

表5 天保15年(1844) オランダ船本方荷物の仕入値と販売価格

Goederen	商 品	仕入値(単位:テール)	販売価格(単位:テール)
laken, diverse kleuren	大 ら し や	12.35 / ikje	7.72 ~ 10.0 / ikje
lakenrassen, diverse kleuren	色 小 ら し や	119.97 / p <sup>a</sup>	85.0 ~ 95.0 / stuk
kroonrassen, diverse kleuren	色 羅 背 板	42.30 / p <sup>a</sup>	30.0 / stuk
kazemieren, diverse kleuren	色 ふ ら た	9.34 / ikje	4.8 ~ 5.0 / ikje
greinen, diverse kleuren	色 呉 羅 服 連	4.30 / ikje	4.0 ~ 4.5 / ikje
gewaterde greinen, diverse kleuren	空 織 色 同	4.45 / ikje	2.0 ~ 2.1 / ikje
gedrukte trypen, diverse kleuren	色 毛 紋 天 鷲 絨	13.35 / ikje	5.0 / ikje
taffachelassen, verbeterde	上 奥 嶋	6.88 / p <sup>a</sup>	6.7 ~ 10.5 / stuk
taffachelassen, extra fyn	新 織 奥 嶋	10.80 / p <sup>a</sup>	10.0 ~ 10.7 / stuk
taffachelassen, ordinair	相 み じ ま	6.19 / p <sup>a</sup>	-
Patna sitsen	皿 紗	1.72 / p <sup>a</sup>	2.25 / stuk
Bengaalsche sitsen	弁 柄 皿 紗	2.63 / p <sup>a</sup>	3.2 / stuk
Europesche sitsen	本 国 皿 紗	10.50 / p <sup>a</sup>	12.0 ~ 19.3 / stuk
Europesche sitsen Turksch rood	本 国 皿 紗	16.69 / p <sup>a</sup>	
roode hamans	赤 達 中	11.45 / p <sup>a</sup>	8.3 ~ 9.1 / stuk
olifantstanden 1 <sup>e</sup> en 2 <sup>e</sup> soort	象 番 象 牙	3.58 / kattie	2.0 ~ 2.5 / kattie
olifantstanden 3 <sup>e</sup> soort	三 番 象 牙	2.97 / kattie	[1.0 / kattie]
garioffel nagelen	丁 子	0.54 / kattie	1.5 / kattie
tin	錫	0.24 / kattie	0.25 / kattie
peper	胡 櫛	0.14 / kattie	0.15 / kattie
suiker 1 <sup>e</sup> soort	上 品 砂 糖	0.046 / kattie	0.062 ~ 0.07 / kattie
sapanhout	蘇 木	0.069 / kattie	0.055 / kattie
kaliatoerhout	紫 旦	0.063 / kattie	[0.05 / kattie]
kwikzilver	水 銀	3.03 / kattie	[1.0 / kattie]
noten-muscaat	肉 豆 蔻	1.00 / kattie	[0.6 ~ 1.0 / kattie]
staranys	大 茴 香	0.32 / kattie	[0.1 / kattie]
zilveren munten	銀 錢	-	2.91394 / t.
platlood uit de manufactuur kisten	荷 包 銀	-	0.08 / kattie

出典・'Goederen'は、'Opgegeven Nieuws, Facturen en Monsterrol 1844.' MS. N.A. Japans Archief, nr.1749(Aanwinsten, 1910, I: No. 118). (Todai-Shiryō Microfilm: 6998-1-131-17)。  
 ・「商品」は、「浮世の有さま」第十一(国立国会図書館所蔵)。  
 ・「仕入値」は、Factuur 1844. MS. N.A. Japans Archief, nr.1738(Aanwinsten, 1910, I: No.107). (Todai-Shiryō Microfilm: 6998-1-131-6)より算出。  
 ・「販売価格」は、Bijlaag N<sup>o</sup>. 2. Komp<sup>e</sup> verkoop 1844. (Komp<sup>e</sup> rekening courant 1844.) MS. N.A. Japans Archief, nr.1803(Aanwinsten, 1910, I: No.170). (Todai-Shiryō Microfilm: 6998-1-133-18)。  
 なお、[ ]内は、Rekening van den Aparten Handel 1844. (Komp<sup>e</sup> rekening courant 1844.) MS. N.A. Japans Archief, nr.1803(Aanwinsten, 1910, I: No.170). (Todai-Shiryō Microfilm: 6998-1-133-18)。

表6 弘化2年(1845)の献上・進物品と残品の販売

品 名	1844年度の残り	献上・進物品	進物残品の販売			1844年度 長崎売の販売価格 (テール)
	長さ・反数		長さ・反数	価格(テール)	価額(テール)	
laken schairood [猩々緋]	74 間 43 丁 イム	63 間 90 丁 イム	9 間 71 丁 イム	10.0 / 間	97.1	10.0 / 間
laken zwart [黒大羅紗]	85 間 51 丁 イム	57 間 30 丁 イム	27 間 55 丁 イム	10.0 / 間	275.5	10.0 / 間
laken diverse kleuren [色大羅紗]	232 間 88 丁 イム	150 間 50 丁 イム	80 間 8 丁 イム	8.0 / 間	646.4	8.0 / 間
greinen diverse kleuren [色呉羅服連]	130 間 31 丁 イム	108 間 2 丁 イム (残り) 1 間 08 丁 イム	21 間 03 丁 イム	6.0 / 間	126.18	4.0 ~ 4.8 / 間
kazemieren diverse kleuren [色ふらた]	85 間 49 丁 イム	54 間 (残り) 66 丁 イム	30 間 83 丁 イム	5.0 / 間	154.15	5.0 / 間
lakenrassen rood [緋小羅紗]	1 反	1 反				
lakenrassen purper [紫小羅紗]	2 反	2 反				
lakenrassen zwart [黒小羅紗]	3 反	3 反				
taffachelass: extra fijn 1 <sup>e</sup> soort [新織奥嶋]	75 反	49 反	26 反	11.0 / 反	286.0	10.7 / 反
taffachelass: verbeterde 1 <sup>e</sup> soort [上奥嶋]	35 反	28 反	7 反	9.0 / 反	63.0	10.5 / 反
Nederl: sitsen 1 <sup>e</sup> soort [本国皿紗]	50 反	46 反	4 反	26.0 / 反	104.0	19.3 / 反
Bengaalsche sitsen [弁柄皿紗]	103 反	77 反	26 反	3.2 / 反	83.2	3.2 / 反
Patna sitsen [皿紗]	180 反	164 反	16 反	2.3 / 反	36.8	2.25 / 反
合 計					1,872.33	

出典・Geschenken en Jedoschen verkoop 1845. MS. N. A. Japans Archief, nr. 1820(Aanwinsten, 1910, I: No. 208). (Todai-Shiryō Microfilm: 6998-1-134-13).  
 註・「1844年度長崎売の販売価格」は表4参照。

次に、史料の問題として、上掲③積荷目録の項で、「提出送り状」に照合する「積荷目録」が「浮世目録」であると述べたが、一方の「天保目録」はどの時点で作成されたものと考えればよいのであろうか。ここでは、「落札帳」(表4)にみられる「尺長上皿紗」「蘇木」「丁子」「胡椒」「錫」「紫檀」「水銀」「肉豆蔻<sup>(落カ)</sup>」の数量に注目したい。これらの数量と「天保目録」(表2)の数量と比較した場合、「尺長上皿紗」は取引前(「改」前)の合計206反に一致し、その他の秤量品目では、「紫檀」で1斤の違いがある他は全て一致している。そして、「浮世目録」の数量と一致しない。「尺長上皿紗」以外の染織類で「浮世目録」と「天保目録」が一致している点を考えに入れば、「天保目録」は、「提出送り状」が翻訳された「積荷目録」作成後、本方取引のはじまる前までに作成されたリストと考えられる。<sup>(22)</sup>江戸幕府に進達された「積荷目録」が「提出送り状」翻訳時のものに限定されるとすると、「天保目録」はその限りのものではなく、現地長崎で活用された実務的リストということになる。しかし、後日このリストが幕府に進達されなかったことを実証する史料を現在のところ持ち合わせていない。

いわゆる「積荷目録」は史料上では、「荷物之目録」(承応2年(1653))、<sup>(23)</sup>「積荷物色立」(享保元年(1716)前後)、<sup>(24)</sup>「積荷物差出和解」(明和2年(1756))、<sup>(25)</sup>「積荷物差出和解」(文化14年(1811))、<sup>(26)</sup>「本方差出和解」(文政12年(1829)以降)、<sup>(27)</sup>「本方并別段商法持渡御用御詔荷物差出和解」(安政2年(1855))、<sup>(28)</sup>「本方并別段脇荷物共差出和解」(安政2年(1855))<sup>(29)</sup>等と表記される。本方荷物だけでなく、脇荷物や詔物等が併記されたリストとすると、作成するまでにそれなりの時間が必要であり、いかなる時点のリストが幕府に進達されたか、または各時点のリストが順次進達されたかは一概に決めがたく、さらに年によってそれは異なっていたのではないかと推測される。

『崎陽群談』には、輸入品の荷改めがおこなわれた後に作成される帳面に関して、

- 一 阿蘭陀船何艘ニ而も、持渡候荷物之分一船切ニ書付、乙名・通詞々差出候間、入津注進之宿次之以後之宿継ニ御老中方江差上、扣在府之同役江も遣し候事<sup>(30)</sup>

とあることより、長崎から貿易にかかわる書付は幕府へ何度となく送られていたことが推測される。

「積荷目録」は、本来「提出送り状」が翻訳されたりリストである「積荷物差出和解」をさすが、筆者はもう少し幅をもたせ、「積荷物差出和解」およびその後、取引前までに何らかの改訂が加えられたリストおよびその写しも広い意味で「積荷目録」とみてよいのではないかと考えている。したがって、本稿では「天保目録」

も「積荷目録」としてあつかうこととする。

### 第3章 天保15年の脇荷物とその取引

脇荷貿易はそのはじまりである17世紀より、オランダ商館長以下の館員や船員の役得として許された私貿易品の取引であった。1827年(文政10)バタヴィア政庁は商館職員・船員らの脇荷貿易組合Particuliere Handelsociëteitの結成を承認して5万グルデンを限度とする貿易を許した。ところが、1830年(文政13)には、この組合は解消され、その後1835年(天保6)、脇荷貿易をおこなう権利はバタヴィアで入札に付され、落札者が脇荷貿易権の賃借人として長崎で貿易することに改められ、商館職員・船員の私貿易関与・参加は排除された。<sup>(31)</sup>その後、賃借人による脇荷貿易は1854年(安政元)までつづいたが、1855年(安政2)からは脇荷貿易もバタヴィア政庁によっておこなわれることとなる。<sup>(32)</sup>したがって、本稿であつかう天保15年は、賃借人による脇荷貿易であった。

本章では、天保15年のオランダ船積荷物の内、脇荷物とその取引を解明する現存の日蘭双方の史料について紹介し、日蘭両史料の照合を試み、その実態を解明していきたい。

#### ①申告書

まず、オランダ側史料としては、脇荷貿易賃借人がバタヴィアでこの年、日本に持ち渡る品物を申告している下記表題をもつ史料を挙げるができる。(史料8)

Opgave van door den pachter der kambanghandel op Japan mede te nemene goederen voor den jare 1844.<sup>(33)</sup>

(日本でのカンバン貿易(=脇荷貿易)の賃借人によって、1844年に持って行く品々の申告書)

本史料は、1844年6月10日にバタヴィアにおいて作成されたものであり、脇荷貿易賃借人pachterであるビッケルE. Bickerの署名をもつ申告書である。(なお、本稿で使用する史料は写しafschriftであり、原本と

史料8 申告書



表7 天保15年(1844)オランダ船脇荷物

	Opgave			積荷目録		落札帳(表8)番号
	Goederen	Hoeveelheid	Gulden	商 品	数 量	
①	bindrotting	1,300 pikols	10,725.00	—	—	(429)
②	zeep	297 kistjes	1,263.75	サボン	2,950 斤	(408)
③	tamarinde	10 pikols	70.00	タマリンデ	3 箱	(405)
④	aardewerk	8 manden	228.00	焼物類	13 箱ト8 籠	(178)~(310)
⑤	vloermatten	6 pakken	405.00	敷物	1 箱ト6 包	(357)~(359)
⑥	Palembangsche rottingen	15 pakken	319.00	藤ノ杖	15 捆	(360)
		2,983 p.				
⑦	glaswerk	22 kisten	2,250.86	硝子器	74 箱	(1)~(177), [1]~[20]
⑧	glaswerk	8 kisten	827.57	〔上掲⑦: 硝子器〕	〔上掲〕	〔上掲〕
⑨	boeken	1 kist	212.95	—	—	—
⑩	aardewerk	7 kisten	931.35	〔上掲④: 焼物類〕	〔上掲〕	〔上掲〕
⑪	dommekrachten	1 pak	30.30	萬力	1 捆	(356)
⑫	spiegels	2 kisten	80.00	鏡	2 箱	(323)~(327)
⑬	glaswerk	2 kisten	141.00	〔上掲⑦: 硝子器〕	〔上掲〕	〔上掲〕
⑭	horologien & galanterien	1 kist	320.60	時計并小マ物類	5 箱	(311)~(322), (328)~(352)
⑮	glaswerk	2 kisten	244.40	〔上掲⑦: 硝子器〕	〔上掲〕	〔上掲〕
⑯	glaswerk	34 kisten	2,462.05	〔上掲⑦: 硝子器〕	〔上掲〕	〔上掲〕
⑰	kramerijen	2 kisten	199.60	〔上掲⑭: 時計并小マ物類〕	〔上掲〕	〔上掲〕
⑱	boomolij	4 kisten	115.00	テレメンテイン	100 瓶	(418)
⑲	lantaarns	1 kist	54.00	羊角燈籠	1 箱	(353)~(355)
⑳	medicijnen	23 kisten	4,782.00	※	※	(361)~(390), (392)~(404), (406), (407), (410)~(417), (419)~(422), (424), [43]
㉑	boeken	1 kist	38.60	—	—	—
㉒	horologien en kramerijen	1 kist	1,828.85	〔上掲⑭: 時計并小マ物類〕	〔上掲〕	〔上掲〕
㉓	medicijnen	37 kisten	8,594.14	〔上掲㉑: ※〕	〔上掲〕	〔上掲〕
㉔	glaswerk	4 kisten	350.84	〔上掲⑦: 硝子器〕	〔上掲〕	〔上掲〕
㉕	bankkleedjes	1 kist	288.00	カブリ	1 箱	[53]~[57]
㉖	glaswerk	2 kisten	174.50	〔上掲⑦: 硝子器〕	〔上掲〕	〔上掲〕
㉗	glazendozen (kramerijen)	1 kist	22.50	〔上掲⑭: 時計并小マ物類〕	〔上掲〕	〔上掲〕
㉘	aardewerk	5 kisten	297.66	〔上掲④: 焼物類〕	〔上掲〕	〔上掲〕
㉙	kajoe poetie-olij	4 kisten	996.00	カヤブーテ油	249 フラスコ	(423)
㉚	kurken	1 kist	56.00	—	—	—
㉛	aardewerk	3 kisten	110.00	〔上掲④: 焼物類〕	〔上掲〕	〔上掲〕
			38,419.52			
㉜	koffij	5 pikols	110.00	コーヒイ豆	一袋	(409)
㉝	genever	10 kelders	120.00	セ子ー <sup>(2)</sup> ル	10 箱	(425)
㉞	roode wijn	5 kisten	130.00	赤葡萄酒	3 箱	(426)
			360.00			
㉟	—	—	—	水牛角	4,575 斤	(427)
㊱	—	—	—	水牛爪	543 斤	(428)

出典・Opgave ①~㉛は、Opgave van door den pachter der kambanghandel op Japan mede te nemene goederen voor den jare 1844.

Ingekomen stukken 1844. MS.N.A. Japans Archief, nr.1878 (Aanwinsten, 1910,I: No.20).(Tōdai-Shiryō Microfilm: 6998-1-122-3).

・Opgave ㉜~㉞は、Tweede opgave der ondervolgende goederen die de ondergeteekende verzoekt voor den kambang handel op Japan dit jaar te mogen medenemen. Ingekomen stukken 1844. MS.N.A. Japans Archief, nr.1878 (Aanwinsten, 1910,I: No.20).

(Tōdai-Shiryō Microfilm: 6998-1-122-3).

・積荷目録は、「天保雜記」第五十六冊(『内閣文庫所蔵史籍叢刊』第34巻、汲古書院、昭和58年、654~655頁)。

註・※印は下表(表7付録)の薬品。



史料9 落札帳(脇荷取引)

同一の写しであることを証明した民間貯蔵局長ランゲJ. R. Langeの署名を持つ。)この申告書には、各脇荷物の商品名・数量・仕入価額等が記されており、バタヴィアにおける発送前の脇荷物について知ことができる。<sup>(34)</sup>

#### ②積荷目録

次に日本側史料としては、先の表1に示したように4点の積荷目録をあげることができる。しかし、本章の



表7 付録

積荷目録		落札帳(表8)	
商 品	数 量	商 品	数 量
エイスランスモス	872 斤	(362) エイスランスモス	872 斤
キナキナ	1,654 斤	(361) キナキナ	1,654 斤
アラヒヤコム	1,634 斤	(363) アラヒヤコム	1,654 斤 但 80 箱
マグチシヤ	546 斤	(364) マク子シヤ	546 斤
オクリカンキリ	827 斤	(365) ヲクリカンキリ	827 斤 40 箱
痰切	1,654 斤	(407) タンキリ	1,645 斤
ジキタリス葉	208 斤	(367) シキターリス	208 斤 125 瓶
サレーソブ	414 斤	(375) サアレツフ	414 斤 20 箱
ウユインズテーン	83 斤	(377) 細末ウエインステ井ン	83 斤 2 箱
ウイジンシール	270 斤	(380) ウエ井ンステインシウル	278 斤 12 壺
ゴムアンモニヤツク	414 斤	(366) コムアンモニヤク	414 斤 20 箱
マンナ	219 斤	(378) マンナ	250 斤
阿魏	331 斤	(410) アギ	311 斤
ゼイアユイン	414 斤	(379) セアユイン	814 斤
ヤメンシーフ	331 斤	(370) セメンシイナ	331 斤 16 袋
カミルレ	827 斤	(381) カミルレ	267 斤
センナ	414 斤	(382) センナフラーテン	414 斤 20 袋
フリルブルーム	83 斤	(383) フリイルフルウム	83 斤 4 袋
チンジャン	166 斤	(368) ケンチャンウアルトル	166 斤
サルサウバシルフ	21 斤	(384) サスサバシルラ	21 斤
ズワーフルーム	同	(386) スワーフルフルウム	21 斤
ゴムテレメン	166 斤	(424) ゴムテレメンテイン油	166 斤
サルヘートル	43 斤	(387) サルヘートル	42 斤
サスカフラス	124 斤	(393) サツサフラアス	124 斤
シュルフスソフタ	83 斤	(389) シュルプツソータ	83 斤 4 壺
ボソクホフト	1,588 斤	(392) 細末ホツクホート	1,588 斤
オーリコムニイコガル	4 瓶	(403) ホーリシヤルスト	4 瓶
アルテヤウナルトル	10 瓶	(422) オーリコムコルトニス	10 瓶
甘草	21 斤	(396) アルテヤウナルトル	21 斤
ヤラツバ	414 斤	[43] 甘艸	414 斤
アチイスドロツブ	42 斤	(400) ヤラツバ	42 斤
アルニカウアルトル	43 斤	(388) アチースドロツブ	42 斤
アルニカブルーム	83 斤	(394) アルニカウアルトル	83 斤
コロンボウ	43 斤	(395) アルニカフルウム	42 斤
	83 斤	(385) ラーテイキスコロンホー	83 斤
	10 斤		
ボテクツハス	10 斤	(390) ボーラキス	12 瓶
ベテトノナ葉	21 斤	(399) ヘラトーナ葉	21 斤
シヨシヤム	42 斤	(398) ヒヨシヤムス葉	42 斤
メントキリスフ葉	同	(397) メンターキリスブ	42 斤
亜麻仁	10 斤	(401) 亜麻仁	10 斤
ミコルフスシニイフナ	6 合	—	—
テヒスインマリナーリス	1 合	(406) ラービスインブリナーリス	1 瓶
テリヤアカ	300 罐	(376) テリヤアカ	300 罐
細末イヘカコアナ	同	(369) 細末イヘカコアナ	200 瓶
ホフマンストロツフ	75 瓶	(413) ホフマンストロツフ	31 瓶
スフリースニツトルトロシス	100 瓶	(414) スフリースニツトルトロシス	99 瓶
薄荷油	10 瓶	(417) 薄荷油	10 瓶
オスセンカル	20 瓶	(371) ヲツセンカル	20 瓶
薄荷水	20 瓶	(415) 薄荷水	22 硝子
エキストラクトナ	200 瓶	(372) エキストラクトシキユータ	200 瓶
同ヒコシヤームス	100 瓶	(373) エキストラクトヒヨシヤムス	100 瓶
同ヘラトーナ	12 瓶	(374) エキストラクトヘラトナ	12 瓶
バルサムコッパイハ	50 瓶	(419) ハルサンコツハイハ	39 硝子
アマリタスアリムイ	10 瓶	(404) アセチコムフリエムビー	10 瓶
アマントル油	20 瓶	(420) アマントル油	20 瓶
サアルモニヤシ精気	16 瓶	(416) サルアルモニヤシ精キ	16 瓶
トーフルスブートル	1 瓶	(402) トルフルスブートル	8 瓶
サフラン	151 斤	(411) 荳番サフラン	114 斤
		(412) 式番同	24 斤
ホルトカル油	100 フラスコ	(421) ホルトカル油	98 硝子
—	—	(391) キナソート	20 瓶

考察対象である脇荷物に関して、「唐船紅毛差出控」には33品目記されているが、リストの末尾に「此外カタカナもの少シ有之」とあり、不十分なリストといわざるを得ない。また、「唐舟阿蘭陀差出帳」には35品目記されているが、この内、「薬種るい 右同訳」として15品目記された後に「メ 右外ニも品々有」と記され、こちらも十分なリストとはいえない。さらに、「天保十五年より安政五年雑誌」所収の「積荷目録」に至っては5品目しか記されていない。それに対して、「天保目録」は、「當辰年脇荷物」のもと77品目記され、上記3点の目録の品々を網羅している詳細なリストといえる。したがって、本章では「天保目録」を「積荷目録」として使用する。

### ③落札帳

脇荷取引は、本方取引と違い、オランダ人が持ち渡った商品(脇荷物)を長崎会所において日本商人が直接入札する取引であるが、天保15年の脇荷取引の結果を記した日本側史料としては第2章で紹介した「辰阿蘭陀船本方并脇荷物見看板直入落札控」(史料9)を挙げることができる。本史料により取引された各脇荷物の詳細な品名と数量、落札価格・落札商人名を知ることができる。

脇荷物に関して上記の①申告書・②積荷目録・③落札帳を照合して一覧表にしたものが表7である。

表7については次のことを注記事項として掲げておく。

- ・本表では、各商品の品目は'Opgave' (「申告書」) に記されている順に並べた。
- ・オランダ側商品名各単語の表記については、その頭文字は、地名は大文字とし、その他は小文字で記した。

- ・オランダ側商品名で用いられているd° (= 同) は、それに相当す

る単語を記した。

・数字は基本的に算用数字で記した。

・'Opgave'に記されているmedicijnen（薬種類）に相当する積荷目録の品目（※印）は表7付録として掲げた。なお、「天保目録」は、山脇氏も指摘されるように、写しを重ねたものと思われ、特にカタカナ書きの商品名に誤写が見られる点に注意を要するため、落札帳に記されている薬品名をそれぞれの品名に照合する形で記しておく。

表7作成によって注目される点は、'Opgave'のリストが大変簡略な記事になっていることである。バタヴィアで作成された'Opgave'は、恐らく仕入額を知らせることを主眼にした申告書であったことより、商品名が簡略に記されているのであろう。また、「積荷目録」は薬種類に関しては詳細な記事になっているが、「焼物類」・「硝子器」・「時計并小マ物類」などといった品目名があり、商品リストとしては具体性を欠いたものとなっている。このような傾向は、当時オランダ側が日本側に提出した積荷リスト（提出送り状）、およびそれを翻訳した日本側リスト（積荷目録）全般にいえることである。<sup>(35)</sup> 19世紀も中期をむかえるに従って、輸入品も定例化してきており、従来よりおこなわれていたオランダ側からの積荷リストの提出とその翻訳は形式化し、それによって内容も簡略化されたものとなっていったのである。しかし、当然詳細な品目リストはオランダ側にも日本側にも存在していたと思われる。

「辰阿蘭陀船本方并協荷物見看板直入落札控」は、上述のように日本側商人が作成したものであり、天保15年の協荷取引の実態をみるのに最も詳細な現存史料といえる。したがって、本稿では、本史料によって得られた結果を作表し提示しておきたい（表8）。表7では、表8で各品目に付した頭注番号を「見帳（表8）番号」として'Opgave'、「積荷目録」に照合する形で記しておく。

表7と表8により上記「積荷目録」に記された「焼物類」・「硝子器」・「時計并小マ物類」などの具体的な品名がわかる。さらにそれらを含めて日本で協荷取引された品々の日本側商品名と数量、落札価格、落札商人名を確認することができる。

また、上記照合作業によって'Opgave'に記された全ての商品が協荷取引されていたわけではないことがわかる。天保15年の協荷取引についてオランダ側史料はその詳細を欠くが、おそらく仕入総額の2/3前後が協荷取引になっていたと考えられる。これは、賃借人が持ち渡った品物の中には本人の裁量で協荷取引以外で販売してよい品（おそらく仕入総額の1/3前後）が含まれており、<sup>(36)</sup> 例えば⑨⑫ boeken（書籍類）は全てそれに当てられたものと思われる。その他の品々についても

全ての数量を協荷取引とせず、賃借人が協荷取引以外で販売したものが含まれていたと考えられる。なお、これらの品々はおそらく「御調」や「願請」として日本側に売り渡されていたと推測される。<sup>(37)</sup>

次に、落札帳に記されている「辰紅毛 壺番部屋同断（＝追協荷）」・「辰紅毛 式番部屋追協荷」・「辰紅毛 三番部屋同（＝追協荷）」の表記とその商品群の取引に関しては注意を要する。先にも記したように、1835年（天保6）に協荷貿易をおこなう権利はバタヴィアで入札に付され、落札者が協荷貿易権の賃借人として長崎で貿易することに改められ、商館職員・船員の私貿易関与・参加は排除された。しかし、この表記は、天保5年以前の商館長や船長等の協荷取引を意味する。この点については、今後、日本側・オランダ側の史料を調査の上、検討していきたい。

#### 第4章 天保15年の詔物とその取引

日蘭貿易における近世後期の詔物は、将軍をはじめとする幕府高官、長崎地役人等によって、オランダ船に注文されたものの持ち渡り品である。近世前期におけるオランダ船の注文品持ち渡りについては、岩生成一氏が述べられているように、

十七世紀の初期日蘭貿易が開始されてから、年々平戸や長崎に入港したオランダ船は、多量の通常正規の輸入物資の外、将軍、大名、その他の要路の大官や関係者の注文に応じて動植物、珍奇な器具や、さては書籍絵画なども輸入した<sup>(38)</sup>

といわれている。そして、19世紀前半には、将軍や老中・長崎奉行・代官・町年寄等の注文を阿蘭陀通詞が注文書作成の上に発注して、翌年以降にもたらされるようになっていた。このような注文品＝詔物に関するシステムのはじまりについては今のところ未詳といわざるをえないが、宝暦期（1751～1764）には既におこなわれていたようである。<sup>(39)</sup>

詔物＝注文品は、前年度に発注されたものが全て翌年持ち渡られるとは限らず、持ち渡られるまで何度も注文が繰り返されることもあった。この詔物は、個人的な要求にもとづいていたとはいえ、当時の日本人の具体的な需要や好みを知ることができ、また日蘭の需給関係の一端を知ることができる。

天保15年のオランダ船詔物輸入については既に報告しており、詳細に関してはそちらにゆずるが、<sup>(40)</sup> 本章においては、第2章の本方荷物、第3章の協荷物の考察にあわせる形で、詔物とその取引を解明しうる史料について簡潔に紹介し、日蘭両史料の照合をおこない、その実態を提示しておきたい。

##### ①注文書

詔物＝注文品の発注リストは前年、阿蘭陀通詞によ

表8 天保15年(1844)オランダ船脇荷物の取引

	商 品	数 量	落札価格 (脇荷銀)	落札商人
	同脇荷			
(1)	壺番切子蓋物	1	144 匁	㊦
(2)	貳番同	4 ツ	58 匁	ふしヤ
(3)	三番同	2 ツ	29 匁 8 分	村上
(4)	壺番切子蓋付蓋物	2 ツ	120 匁	入キヤ
(5)	不残二付 貳番同	2 ツ	100 匁 1 分	永
(6)	三番同	2	99 匁 5 分	中村ヤ
(7)	四番同	2	63 匁	ふしヤ
(8)	五番同	2	60 匁 3 分	永
(9)	六番同	2	45 匁	永ミヤ
(10)	七番同	18	34 匁 7 分	㊦
(11)	八番同	18	27 匁 9 分	長ヲカ
(12)	九番同	4	27 匁 3 分	村上
(13)	十番同	4 ツ	23 匁 7 分	永ミヤ
(14)	壺番切子舟形くわし入	1	35 匁	吉井ヤ
(15)	貳番同	2	28 匁	ノトヤ
(16)	三番同	5 ツ	25 匁 3 分	入来ヤ
(17)	四番同	4 ツ	21 匁	ノトヤ
(18)	五番同	2 ツ	17 匁	吉井ヤ
(19)	六番同	2 ツ	19 匁 1 分	天
(20)	切子三枚組鉢	1 組	80 匁	長ヲカ
(21)	同七寸鉢	3 枚	16 匁 9 分	永
(22)	同百合形鉢	7 枚	20 匁 4 分	三支
(23)	不残二付 壺番切子臺付菓子入	2	340 匁	三支
(24)	二番同	4 ツ	65 匁 9 分	藤ヤ
(25)	三番同	4 ツ	58 匁 9 分	ふしヤ
(26)	四番同	2 ツ	31 匁	ノトヤ
(27)	五番同	4 ツ	28 匁	長ヲカ
(28)	切子くわし入	4 ツ	82 匁	中村ヤ
(29)	壺番切子皿付蓋物	2 揃	89 匁 7 分	藤ヤ
(30)	貳番同	2 揃	70 匁 9 分	永
(31)	三番同	2 揃	78 匁 9 分	藤ヤ
(32)	不残二付 壺番切子水次	3 ツ	55 匁	永
(33)	二番同	4 ツ	25 匁 8 分	入キヤ
(34)	切子茶入	4 ツ	76 匁 9 分	永
(35)	壺番切子鉢付ふた物	1 揃	100 匁	永
(36)	二番同	1 揃	100 匁	同人
(37)	三番同	2 揃	55 匁 5 分 5 厘	此
(38)	切子皿付くわし入	4 揃	35 匁 1 分	㊦
(39)	切子皿付猪口	6 揃	18 匁 9 分	ふしヤ
(40)	不残二付 壺番切子瓶	7 ツ	189 匁	永
(41)	同 二番同	9 ツ	250 匁 9 分	長ヲカ
(42)	同 三番同	4 ツ	123 匁	永
(43)	同 四番同	9 ツ	189 匁	ふしヤ
(44)	切子仕切瓶	1	—	—
(45)	壺番切子花生	2 ツ	85 匁	吉井ヤ
(46)	二番同	2	53 匁	ノトヤ
(47)	三番同	4 ツ	32 匁	永ミヤ
(48)	四番同	2	33 匁 6 分	吉井ヤ
(49)	壺番切子蠟燭立	6 ツ	29 匁 8 分	㊦
(50)	二番同	8 ツ	23 匁 4 分	吉井ヤ
(51)	壺番切子盆付銘酒キ	4 揃	291 匁	吉井ヤ
(52)	二番同	全	271 匁	江崎
				永井ヤ



	商 品	数 量	落札価格 (脇荷銀)	落札商人
(53)	三番同	全	222 匁	長ヲカ
(54)	四番同	2 揃	105 匁 4 分	此方
(55)	五番同	7 揃	78 匁 1 分	此
(56)	キヤマン同	3 揃	65 匁 4 分	此
(57)	一番切子盆付茶キ	1 揃	—	—
(58)	二番同	1 揃	59 匁 8 分	此
(59)	壺番切子銘酒瓶	2 ツ	51 匁 9 分	長ヲカ
(60)	三番同	10	48 匁	永 ふしヤ
(61)	貳番同	2 ツ	50 匁 1 分	田
(62)	四番同	20	47 匁 9 分	田原ヤ
(63)	五番同	6 ツ	51 匁 9 分	長ヲカ
(64)	六番同	30	39 匁 1 分	長ヲカ
(65)	七番同	12	28 匁 1 分	長ヲカ
(66)	八番同	4 ツ	29 匁 1 分	江崎
(67)	壺番銘酒瓶	30	38 匁 9 分	此
(68)	二番同	34	33 匁 9 分	長ヲカ
(69)	三番同	30	30 匁	田原ヤ
(70)	四番同	32	31 匁 9 分	田原ヤ
(71)	五番同	22	25 匁	田原ヤ
(72)	六番同	12	20 匁 7 分	長ヲカ
(73)	不残二付 切子銘酒瓶	4 ツ	189 匁	長ヲカ
(74)	同断 切子井	7 ツ	389 匁	㊦
(75)	同断 切子キ物	7 品	173 匁	㊦
(76)	壺番色切子菓子入	2 ツ	78 匁 7 分	ふしヤ
(77)	二番同	2 ツ	48 匁	筑後ヤ
(78)	不残二付 三番同	4 ツ	180 匁	大
(79)	不残二付 色切子キ物	18 品	413 匁	永
(80)	色硝子基咩	4 ツ	4 匁 5 分 6 厘	長ヲカ
(81)	色硝子キヤマン咩	24	6 匁	越後ヤ
(82)	金縁繪入基咩	7 ツ	5 匁 6 分	吉田ヤ
(83)	一番繪入基咩	17	4 匁 1 分	入来ヤ 吉田ヤ
(84)	二番同	130	3 匁 7 分 7 厘	ノトヤ
(85)	三番同	83	3 匁 7 分 1 厘	ふしヤ
(86)	一番繪入手付猪口	151	3 匁 1 分 8 厘	入キヤ
(87)	貳番同	108 ツ	3 匁	此方
(88)	三番同	116	2 匁 8 分 9 厘	此方
(89)	繪入猪口	7 ツ	2 匁 5 分 3 厘	長ヲカ
(90)	同銘酒瓶	11	15 匁 4 分	永
(91)	不残二付 色切子匂ひ瓶	4 ツ	108 匁 3 分	ふしヤ
(92)	同 壺番切子匂ひ瓶	8 ツ	128 匁	ふしヤ ㊦
(93)	同 二番同	6 ツ	52 匁 7 分	永見ヤ
(94)	三番同	204 ツ	1 匁 3 分 8 厘 3 毛	ふしヤ
(95)	不残二付 形入硝子鼻たはこ入	5 ツ	56 匁 6 分	永
(96)	同 切子引提	2 揃	487 匁	中村
(97)	六ツ組引提	1 揃	60 匁	大
(98)	四ツ組同	7 揃	44 匁	㊦
(99)	手附四ツ組同	1 揃	50 匁 8 分	入キヤ
(100)	キヤマン六ツ組引提	全	68 匁 7 分	ふしヤ
(101)	同四ツ組同	13 揃	45 匁 2 分	此
(102)	金縁金繪切子銘酒びん	2 ツ	55 匁	長ヲカ
(103)	金縁金エ盆付銘酒キ	4 揃	85 匁 1 分	三支ヤ
(104)	同小形同	2 揃	52 匁 8 分	ふしヤ
(105)	不残二付 同引提	全	150 匁 3 分	吉田ヤ



	商 品	数 量	落札価格 (編荷銀)	落札商人
(106)	壺番同銘酒瓶	17	21 匁 8 分	此
(107)	式番同	12	14 匁 6 分	吉田ヤ
(108)	金縁金繪茶入	6 ツ	30 匁 9 分	永井ヤ
(109)	同六寸鉢	12 揃	12 匁 8 分	入キヤ
(110)	同菓子入	全	14 匁	三支ヤ 入キヤ
(111)	一番金縁金工角びん	49	16 匁 9 分	㊦
(112)	二番同	68	12 匁	㊦
(113)	壺番金縁金工基咩	11	13 匁 7 分	三支
(114)	式番同	36	6 匁 1 分	㊦
(115)	三同	35	6 匁 5 分	吉田ヤ
(116)	硝子キ	12	5 匁 6 分 1 厘	永
(117)	壺番大基咩	89	15 匁 3 分	吉田ヤ
(118)	式番同	24	10 匁	長ヲカ
(119)	三番同	23	9 匁 1 分 6 厘	長ヲカ
(120)	一番基咩	20	8 匁 4 分	三支
(121)	二番同	177	8 匁 4 分	三支
(122)	三番同	327	7 匁 4 分	三支
(123)	四番同	365	6 匁 5 分	エサキ 三支
(124)	五番同	320	7 匁 5 分 2 厘	永
(125)	六番同	130	7 匁 5 分 3 厘	田原ヤ
(126)	七番同	399	6 匁 3 分 4 厘	此
(127)	八番同	12	7 匁 3 分 5 厘	永
(128)	九番同	29	5 匁 4 分 9 厘	吉
(129)	十番同	60	6 匁 4 厘	三支
(130)	長咩	45	8 匁 2 分 8 厘	大
(131)	硝子臺付ふた物	2 ツ	59 匁 8 分	㊦
(132)	壺番角形薬びん	97	15 匁 1 分	永
(133)	式番同	495	8 匁 1 分 4 厘	永
(134)	三番同	687	6 匁 4 分 9 厘	吉更ヤ
(135)	四番同	833	5 匁 6 分 6 厘	田原ヤ
(136)	五番同	1,459	4 匁 8 分 6 厘	吉更ヤ
(137)	六番同	1,172	4 匁 2 分	田原ヤ
(138)	七番同	540	3 匁 7 分 1 厘	吉更ヤ
(139)	八番同	243	3 匁 6 分 7 厘	ふしヤ
(140)	九番同	149	6 匁	田原ヤ
(141)	十番同	96	6 匁 8 分 3 厘	入キヤ ふしヤ
(142)	十一番同	99	6 匁 2 分 4 厘	ふしヤ
(143)	十式番同	692	5 匁 6 分 9 厘	入来ヤ 入来ヤ
(144)	十三番同	403	4 匁 8 分 9 厘	ふしヤ 入キヤ ふしヤ
(145)	十四番同	1,957	3 匁 6 分	村上
(146)	十五番同	1,937	3 匁	三支
(147)	十六番同	1,549	2 匁 7 分 4 厘	三支ヤ
(148)	十七番同	1,141	2 匁 6 分	永
(149)	十八番同	100	3 匁 9 分 4 厘	此
(150)	十九番同	454	3 匁	田原ヤ
(151)	二十番同	259	2 匁 3 分 4 厘	吉更ヤ
(152)	壺番無し薬びん	40	15 匁 4 分	吉田ヤ
(153)	二番同	81	12 匁 5 分	同人
(154)	三番同	91	6 匁 9 分 5 厘	同人
(155)	四番同	97	5 匁 8 分 2 厘	同人

	商 品	数 量	落札価格 (端銭)	落札商人
(156)	五番同	56	9 匁 3 分 9 厘	長ヲカ
(157)	六番同	58	5 匁 6 分 9 厘	吉更ヤ
(158)	七番同	238	6 匁 2 分 8 厘	㊦
(159)	八番同	816	5 匁 6 分 8 厘	同人
(160)	九番同	1,599	4 匁 7 分	㊦
(161)	十番同	1,132	3 匁 7 分	田原ヤ
(162)	十一番同	1,618	3 匁 1 分	田原ヤ
(163)	十二番同	1,676	2 匁 6 分 1 厘	㊦
(164)	十三番同	1,232	2 匁 4 分 8 厘	吉井ヤ
(165)	十四番同	550	2 匁 1 分 3 毛	吉田ヤ
(166)	十五番同	1,112	3 匁 4 分	此
(167)	十六番同	1,959	2 匁 8 分 2 厘	永
				大
(168)	十七番同	2,147	2 匁 3 分 5 厘	長ヲカ
(169)	十八番同	801	2 匁 8 分 3 毛	ふしヤ
(170)	十九番同	1,038	1 匁 8 分 3 厘	永
				大
(171)	壺番葉びん	48	5 匁 4 分	㊦
(172)	二番同	90	4 匁 7 分 9 厘	吉更ヤ
(173)	三番同	99	4 匁 8 分 1 厘	入キヤ
(174)	四番同	140	3 匁 9 分 6 厘	吉田ヤ
(175)	五番同	94	3 匁 3 分 2 厘	吉更ヤ
(176)	一番口廣葉瓶	120	37 匁 9 分	吉更ヤ
(177)	二番同	145	25 匁 1 分	永井ヤ
(178)	一番白ヤキ金縁蓋付くわし入	3 ツ	41 匁	三支
(179)	二番同	2 ツ	30 匁	三枝
(180)	高二付 白焼金縁蓋付菓子鉢	6 ツ	80 匁	㊦
(181)	同蓋付蓋物	2	28 匁	三支
(182)	壺番白ヤキ金縁ふたもの	2	39 匁	長ヲカ
(183)	式番同	2	31 匁	同人
(184)	壺番白ヤキ金縁くわし入	4 ツ	13 匁 8 分	㊦
(185)	式番同	4 ツ	11 匁 8 分 3 厘	藤ヤ
(186)	三番同	4 ツ	15 匁 8 分	此
(187)	高二付 四番同	2	23 匁 8 分	此
(188)	五番同	4 ツ	8 匁 3 分	舎
(189)	白焼金縁三枚組長鉢	2 組	61 匁 9 分	長ヲカ
(190)	同金縁二枚組同	2 組	30 匁 9 分	此
(191)	同金縁長鉢	5 枚	18 匁 9 分	吉井ヤ
(192)	壺番白焼金縁鉢	4 枚	30 匁	㊦
(193)	式番同	2 枚	18 匁 3 分	舎
(194)	三番同	2 枚	18 匁	ノトヤ
(195)	白ヤキ金縁七寸鉢	72 枚	8 匁 7 分 8 厘	舎
(196)	同金縁六寸鉢	23 枚	8 匁 2 分	永
(197)	同金縁五寸皿	12 枚	7 匁 3 分	同人
(198)	高二付 同金縁蓋物	7 ツ	70 匁 3 分	長ヲカ
(199)	同金縁皿付蓋物	2 揃	52 匁	エ
(200)	高二付 白焼金縁皿付小蓋物	2 揃	7 匁	㊦
(201)	壺番白ヤキ小蓋物	11	6 匁 8 分 6 厘	㊦
(202)	高二付 式番同	3 ツ	16 匁 9 分	村上
(203)	白焼金縁塩入	2 ツ	8 匁 1 分	永
(204)	同貝形皿	6 枚	10 匁 1 毛	吉井ヤ
(205)	高二付 同金縁金エ蓋物	2	38 匁 9 分	ふしヤ
(206)	同小花生	2	10 匁 8 分	金
(207)	壺番白ヤキ金縁エ入花生	2	53 匁	同人
(208)	式番同	2 ツ	36 匁 9 分	同人
(209)	三番同	2 ツ	26 匁 9 分	吉更ヤ

	商 品	数 量	落札価格 (銀兩)	落札商人
(210)	壺番白ヤキ金縁エ入小花生	8 ツ	17 匁	長ヲカ
(211)	不残 式番同	7 ツ	92 匁	⑦
(212)	同 三番同	6 ツ	75 匁	長ヲカ
(213)	同 壺番白ヤキエ入蓋物	6 ツ	88 匁 8 分	此
(214)	式番同	7 ツ	8 匁	⑧
(215)	不残 三番同	6 ツ	—	—
(216)	同 壺番白ヤキエ入蓋物	6	—	—
(217)	式番同	7 ツ	—	—
(218)	壺番エ入咄	295	7 匁 1 分 8 厘	吉井ヤ
(219)	式番同	48	6 匁 9 分	大
(220)	白焼エ入エ付猪口	46 揃	3 匁 9 分	筑後ヤ
(221)	同エ入茶わん	574	1 匁 7 分 8 厘	宝
(222)	同六寸鉢	48 枚	5 匁 1 分 8 厘	⑦
(223)	同五寸皿	478 枚	4 匁 8 分	吉更ヤ
(224)	壺番繪入大咄	13	21 匁 9 分	吉田ヤ
(225)	式番同	12 枚	17 匁 3 分	宝
(226)	三番同	25	16 匁 9 分	宝
(227)	染付角形井	2	18 匁 9 分	同人
(228)	壺番青エ井	5 ツ	21 匁	宝
(229)	式番同	3	20 匁 9 分	永
(230)	三番同	4	15 匁 2 分	此
(231)	不残 とんぶり	4 ツ	61 匁 9 分	③
(232)	染付鉢付蓋物	4 揃	56 匁	全
(233)	壺番染付皿付小ふた物	4 揃	15 匁 8 分	因
(234)	式番同	3 揃	13 匁 2 分	永見
(235)	染付ふた物	6 ツ	18 匁	同人
(236)	壺番染付鉢付くわし入	6 揃	21 匁 4 分	吉井ヤ
(237)	式番同	2 揃	17 匁 1 分	⑦
(238)	染付蓋付くわし入	2 ツ	19 匁	同人
(239)	壺番染付丸形ふた物	3 ツ	18 匁 9 分	同人
(240)	二番同	4 ツ	17 匁 9 分	万ヤ
(241)	三番同	4 ツ	16 匁	宝
(242)	四番同	4 ツ	16 匁 3 分	同人
(243)	壺番染付長鉢	6 枚	32 匁	藤ヤ
(244)	式番同	4 枚	32 匁 9 分	⑦
(245)	三番同	2 枚	28 匁 8 分	入キヤ
(246)	四番同	4 枚	23 匁 4 分	入キヤ
(247)	五番同	4 枚	15 匁 9 分	同人
(248)	壺番染付巢桁付鉢	7 枚	44 匁	⑧
(249)	式番同	3 枚	35 匁 3 分	⑦
(250)	三番同	2 枚	21 匁 8 分	大
(251)	壺番染付はち	1 枚	37 匁	大
(252)	式番同	2 枚	31 匁	大
(253)	三番同	6 枚	6 匁 5 分 1 厘	エ
(254)	壺番染付深手八寸鉢	33 枚	3 匁 9 分 1 厘	ふしヤ
(255)	式番同	620 枚	3 匁 2 分 4 厘	村上
(256)	壺番染付八寸鉢	123 枚	3 匁 9 分 8 厘	藤ヤ
(257)	式番同	1,480 枚	3 匁 2 分 4 毛	金沢ヤ
(258)	染付七寸鉢	58 枚	3 匁 9 分 1 厘	入キヤ
(259)	壺番染付くわし皿	20 枚	7 匁	永
(260)	式番同	11 枚	6 匁	⑦
(261)	三番同	2 枚	5 匁 5 分 5 厘	⑦
(262)	四番同	6 枚	4 匁 6 分 8 厘	エ
(263)	五番同	5 枚	3 匁 6 分 4 厘	ふしヤ
				⑦

	商 品	数 量	落札価格 (編荷銀)	落札商人
(264)	壺番染付百合形深はち	25 枚	19 匁 3 分	長ヲカ
(265)	式番同	28 枚	8 匁 1 分	エ崎
(266)	染付茶キ	1 揃	72 匁	㊦
(267)	青皿鉢付ふた物	1 揃	39 匁 1 分	㊤
(268)	同皿付ふた物	2 揃	15 匁 3 分	永
(269)	同鉢付くわし入	2 揃	18 匁 1 分	㊦
(270)	同蓋物	1	17 匁	㊦
(271)	同巢桁付鉢	1 枚	34 匁 5 分	宝 宝
(272)	同二枚組長鉢	1 組	72 匁 9 分	吉更ヤ
(273)	同長鉢	2 枚	11 匁	㊤
(274)	同百合形深鉢	5 枚	13 匁 4 分	入キヤ
(275)	同菓子皿	2 枚	8 匁 6 分	永
(276)	同八寸鉢	36 枚	4 匁 2 分 9 厘	㊤
(277)	同七寸鉢	16 枚	3 匁 9 分 2 厘	㊦
(278)	同蓋付蓋物	2 ツ	30 匁	㊦
(279)	壺番エ入ふた物	3 ツ	13 匁 9 分	長ヲカ
(280)	式番同	4 ツ	13 匁 1 分	長ヲカ
(281)	エ入巢桁付鉢	1 枚	39 匁	㊤
(282)	壺番繪入百合形深鉢	4 枚	12 匁 4 分	永
(283)	式番同	4 枚	11 匁 8 分	永
(284)	繪入菓子鉢	2 枚	9 匁	㊤
(285)	壺番肉入	19	4 匁	三支
(286)	式番同	12	4 匁 3 分	三支
(287)	三番同	12	5 匁 3 分	同人
(288)	白ヤキ金縁エ入匂ひ瓶	2 ツ	30 匁 6 分	長ヲカ
(289)	壺番白ヤキエ入鼻たはこ入	2	21 匁 2 分	長ヲカ
(290)	式番同	4 ツ	17 匁 3 分	同人
(291)	三番同	2	20 匁 8 分	ふしヤ
(292)	壺番素焼鉢付くわし入	2 揃	43 匁 5 分	永
(293)	式番同	2 揃	39 匁 8 分	同人
(294)	三番同	2 揃	32 匁	同人
(295)	四番同	3 揃	30 匁 7 分	ノトヤ
(296)	五番同	3 揃	30 匁 8 分	入キヤ
(297)	六番同	4 揃	29 匁 8 分	藤ヤ
(298)	壺番素ヤキくわし入	2 ツ	28 匁	大
(299)	式番同	6 ツ	25 匁	大
(300)	高二付 三番同	3 ツ	62 匁	同人
(301)	壺番素ヤキ菓子鉢	2 枚	13 匁 9 分	吉田ヤ
(302)	式番同	2 枚	16 匁 3 分	同人
(303)	三番同	2 枚	12 匁 9 分	同人
(304)	スヤキ花生	125	2 匁 3 分 9 厘	長ヲカ
(305)	同壺	148	1 匁 3 分 9 厘	同人
(306)	白焼手附水次	110	3 匁 2 分 3 厘	㊦
(307)	白焼縁飾り八寸鉢	2,246 枚	2 匁 8 分 4 厘	入キヤ 金サハ
(308)	同深手八寸鉢	1,108 枚	2 匁 8 分 1 厘	村上
(309)	不残二付 壺番白焼物器	11 品	150 匁 9 分	此
(310)	同 式番同	9 品	110 匁	因
(311)	い三本針袂時計	1	—	—
(312)	ろ同	1	1 貫 620 匁	永井ヤ
(313)	は同	1	1 貫 500 匁	因
(314)	に同	1	1 貫 990 匁	吉田ヤ
(315)	に式本針同	1	1 貫 800 匁	吉井ヤ
(316)	馬乗時計	1	2 貫 500 匁	大



	商 品	数 量	落札価格 (編荷銀)	落札商人
(317)	い銀袂時計	1	1 貫 860 匁	永井ヤ
(318)	ろ同	1	529 匁	下新
(319)	押打銀袂時計	1	1 貫 430 匁	大]
(320)	ヲルコル付置物	1	918 匁	ノトヤ
(321)	襟巻	10 ヲ	18 匁 3 分	吉田ヤ
(322)	硝子はこ	20	14 匁 4 分	㊦
(323)	壺番金縁鏡	2 面	293 匁	同人
(324)	式番同	全	308 匁	ふしヤ
(325)	壺番基付小かゝみ	2 面	27 匁 4 分	永井ヤ
(326)	式番同	8 面	18 匁 1 分	吉井ヤ
(327)	三番同	8 面	12 匁 3 分	同人
(328)	壺番風琴	5 ツ	34 匁 3 分	㊦
(329)	式番同	全	31 匁 9 分	同人
(330)	鈴	2 ツ	16 匁 3 分	長ヲカ
(331)	壺番五色墨	24 箱	5 匁 7 分 3 厘	㊦
(332)	式同	全	4 匁 4 分	㊦
(333)	さし	72 本	3 匁 6 分 9 厘	ノトヤ
(334)	壺番金入	24	3 匁 1 厘	長ヲカ
(335)	式番同	12	2 匁 2 分 1 厘	㊦
(336)	皮手貫キ	10 揃	18 匁 1 分	ふしヤ
(337)	壺番メリヤス手貫キ	72 揃	4 匁 1 分	大]
(338)	式番メリヤス手貫キ	12 揃	6 匁 5 分	大]
(339)	壺番火打	8 ツ	28 匁	ふしヤ
(340)	式番同	18	20 匁 3 分	ふしヤ
(341)	手遊び道具	12 品	21 匁 9 分	此
(342)	壺番鎖り付手遊び時計	47	4 匁 6 分 3 厘	㊦
(343)	式番同	72	2 匁 1 分 3 厘	㊦
(344)	壺番時計鎖り	全	4 匁 8 分	大]
(345)	式番同	144	1 匁 3 分 9 厘	長岡ヤ
(346)	玉入留針	48 本	1 匁 8 分	此
(347)	指輪	108 ツ	6 分 7 厘	吉田ヤ
(348)	金髻	16 枚	1 分 4 厘 9 毛	永
(349)	銀紙	120 枚	1 分 3 毛	同人
(350)	形付紙	1 巻	10 匁 7 分	永
(351)	磨キ皮	1 枚	47 匁 7 分	下新
(352)	附木	6,000 筒 但 80 本宛入	2 匁 7 分 6 厘 1 毛	ノトヤ
(353)	壺番羊角燈ろ	10 ヲ	27 匁 9 分	永井ヤ
(354)	式番同	10 ヲ	26 匁 9 分	大]
(355)	三番同	10 ヲ	25 匁 6 分	入キヤ
(356)	萬力	1 挺	207 匁 8 分	同人
(357)	壺番花アンペラ	15 枚	178 匁 9 分	吉田ヤ
(358)	式番花アンペラ	30 枚	58 匁 9 分	永
(359)	三番同	20 枚	32 匁	吉田ヤ
(360)	藤杖	2,980 本	5 分 8 厘	永
(361)	キナキナ	1,654 斤	59 匁 5 分	入キヤ
(362)	エイスランスモス	872 斤	47 匁 3 分	金サハヤ
(363)	アラビヤコム	1,654 斤 但 80 箱	23 匁 1 分 4 厘	吉井ヤ
(364)	マク子シヤ	546 斤	21 匁 4 分	大]
(365)	ヲクリカンキリ	827 斤 40 箱	36 匁 4 厘	永
(366)	コムアンモニヤク	414 斤 20 箱	24 匁 8 分 9 厘	同人
				田原ヤ
				万ヤ

	商 品	数 量	落札価格 (匁銀)	落札商人
(367)	シキターリス	208 斤	143 匁	キ
		125 瓶		
(368)	ケンチヤンウヲルトル	166 斤	5 匁 8 分 5 厘	吉井ヤ
(369)	細末イヘカコアナ	200 瓶	35 匁 8 分	同人
(370)	セメンシイナ	331 斤	171 匁 9 分	永
		16 袋		
(371)	ヲツセンカル	20 瓶	78 匁	木下
(372)	エキスラクトシキユータ	200 瓶	21 匁 9 分 4 厘	万ヤ
(373)	エキスタラクトヒヨシヤムス	100 瓶	115 匁	木下
				吉井ヤ
(374)	エキスタラクトヘラトナ	12 瓶	71 匁 8 厘	木下
(375)	サアレツフ	414 斤	24 匁 8 分	安田ヤ
		20 箱		
(376)	テリヤアカ	300 罐	8 匁 1 分 4 厘	入来ヤ
(377)	細末ウエインステ井ン	83 斤	10 匁 3 分	永見
		2 箱		
(378)	マンナ	250 斤	18 匁 6 分	安田ヤ
(379)	セアユイン	814 斤	38 匁 9 分 5 厘	長岡
(380)	ウエ井ンステインシユル	278 斤	29 匁 2 分	村上
		12 壺		
(381)	カミルレ	267 斤	5 匁 9 分 4 厘	同人
(382)	センナフラーテン	414 斤	11 匁 6 分	同人
		20 袋		
(383)	フリイルフルウム	83 斤	6 匁 3 分 9 厘	長岡
		4 袋		
(384)	サスサバリルラ	21 斤	8 匁 9 分	吉井ヤ
(385)	ラーテイキスコロンホー	83 斤	48 匁 9 分	同人
(386)	スワーフルフルウム	21 斤	7 匁 8 分	エサキ
(387)	サルヘートル	42 斤	5 匁 6 分 9 厘	万ヤ
(388)	ア子ーストロツプ	42 斤	25 匁 7 分	藤ヤ
(389)	シユルプツソータ	83 斤	6 匁	越後ヤ
		4 壺		
(390)	ボーラキス	12 瓶	40 匁	長ヲカ
(391)	キナソート	20 瓶	280 匁 9 分	入来ヤ
(392)	細末ホツクホート	1,588 斤	3 匁 9 分 4 厘	萬ヤ
				入
(393)	サツサフラアス	124 斤	8 匁 8 分	木下
(394)	アルニカウヲルトル	83 斤	36 匁 1 分	安田ヤ
(395)	アルニカフルウム	42 斤	35 匁	長ヲカ
(396)	アルテヤウヲルトル	21 斤	8 匁 9 分	吉井ヤ
(397)	メンターキリスブ	42 斤	1 匁 9 分 8 厘	萬ヤ
(398)	ヒヨシヤムス葉	42 斤	89 匁 1 分	吉井ヤ
(399)	ヘラトナ葉	21 斤	25 匁	同人
(400)	ヤラツバ	42 斤	158 匁	村上
(401)	亜麻仁	10 斤	13 匁 5 分	エ
(402)	トルフルスブートル	8 瓶	21 匁 9 分	エ
(403)	ホーリシヤルスト	4 瓶	15 匁	木下
(404)	アセチコムフリエムピー	10 瓶	61 匁	吉井ヤ
(405)	タンリンデ	1,371 斤	1 匁 9 分 9 厘 1 毛	萬ヤ
(406)	ラーピスインプリナーリス	1 瓶	160 匁 8 分	入来ヤ
(407)	タンキリ	1,645 斤	16 匁 6 分 9 厘	藤ヤ
(408)	サボン	—	6 匁 5 分 4 厘	三支
(409)	コーヒイ	517 斤	1 匁 2 分 5 厘	越後ヤ
(410)	アギ	311 斤	105 匁 8 分	天
(411)	壺番サフラン	114 斤	1 貫 400 匁	エ
(412)	式番同	24 斤	985 匁	永見

	商 品	数 量	落札価格 (端荷銀)	落札商人
(413)	ホフマンストロツプ	31 瓶	110 匁 9 分	ふしや
(414)	スフリテスニツトルトロシス	99 瓶	36 匁 9 分 5 厘	吉井ヤ
(415)	薄荷水	22 硝子	5 匁 8 分	キ
(416)	サルアルモニヤシ精キ	16 瓶	25 匁	木下
(417)	薄荷油	10 瓶	38 匁 3 分	永
(418)	テレメンテイン油	92 硝子	42 匁 1 分	同人
(419)	ハルサンコツハイハ	39 硝子	40 匁	田
(420)	アマントル油	20 瓶	53 匁	大
(421)	ホルトカル油	98 硝子	42 匁	吉更ヤ
(422)	オーリユムコルトニス	10 瓶	6 匁 1 分	長ヲカ
(423)	カヤフーテ油	234 硝子	56 匁 9 分 8 厘	永
(424)	ゴムテレメンテイン油	166 斤	14 匁 9 分	千
(425)	ゼ子ーフル	150 硝子	5 匁 6 分 9 厘	入キヤ
(426)	ローイウエイン	150 硝子	8 匁 8 分	吉井ヤ
(427)	水牛角	4,575 斤	4 匁 9 分 1 厘	山中
(428)	水牛爪	543 斤	10 匁 2 分	ノトヤ
(429)	藤	136,305 斤	1 匁 2 厘 7 毛	木下
	辰紅毛追脇荷			
[1]	壹番切臺付くわし入	1 ツ	193 匁	永
[2]	不残 貳番同	2 ツ	—	—
[3]	同 三番同	4 ツ	—	—
[4]	壹番切子臺付蓋物	2 ツ	—	—
[5]	貳番同	1	—	—
[6]	不残二付 三番同	2 ツ	—	—
[7]	同断 四番同	3 ツ	—	—
[8]	切子皿付蓋物	1 ツ	—	—
[9]	不残二付 切子胡 <sup>(散)</sup> 紛入	9 ツ	—	—
[10]	同 壹番切子辛子入	6 ツ	—	—
[11]	同 貳番同	6 ツ	—	—
[12]	同 切子臺付塩入	5 ツ	—	—
[13]	同 壹番切子銘酒瓶	2 ツ	200 匁	—
[14]	貳番同	3 ツ	56 匁 9 分	吉更ヤ
[15]	不残 三番同	3 ツ	168 匁	—
[16]	同 四番同	5 ツ	150 匁	吉井ヤ
[17]	同 切子手附瓶	7 ツ	181 匁	宝
[18]	同 壹番切子長皿	2 枚	52 匁 1 分	エ
[19]	同 二番同	4 枚	70 匁 8 分	河作
[20]	不残 切子皿	8 枚	140 匁	大
	辰紅毛 壹番部屋同断 <sup>(端荷)</sup>			
[21]	薬種類大	1 筥	—	—
[22]	ピュホン	1 部	1 貫 500 匁	吉田ヤ
[23]	天文窮理書	2 冊	68 匁 4 分	⑦
[24]	草木書	3 冊	114 匁	⑦
[25]	合薬書	2 冊	80 匁	大
[26]	算術書	1 冊	39 匁 1 分	河作
[27]	本草書	2 冊	100 匁	吉井ヤ
[28]	天文書	3 冊	89 匁	吉田ヤ
[29]	ワートルパス	1 冊	35 匁	吉田ヤ
[30]	窮理書	1 冊	45 匁	エ
[31]	草花書	1 冊	61 匁	吉井ヤ
[32]	フランス辞書	全	125 匁 3 分	エ
[33]	解體圖書并二書籍	大小 134 枚ト 8 冊	780 匁 9 分	此
[34]	治療書	1 冊	42 匁 8 分	此

	商 品	数 量	落札価格 (脇荷銀)	落札商人
[35]	軍用書	全	65 匁	㊥
[36]	解體書	1 冊	39 匁 2 分	ノトヤ
	辰紅毛 貳番部屋追脇荷			
[37]	取集もの	10 品	86 匁 9 分	入キヤ
[38]	油葉類	12 品	125 匁	吉井ヤ
[39]	取集葉種	1 箱 87 品	1 貫 150 匁	吉井ヤ
	辰紅毛 三番部屋 <sup>(追脇荷)</sup> 同			
[40]	取集もの	5 品	55 匁	吉井ヤ
[41]	油葉類	15 瓶	—	—
[42]	葉種入箱 追脇荷	2 ツ	698 匁	吉井ヤ
[43]	甘艸	414 斤	7 匁 1 分 8 厘	△
[44]	紅紋羯山	1 丈 3 尺 5 寸 但 1 切	1 間二付 98 匁	㊥
	辰紅毛品代り荷物			
[45]	本国織	3 丈 4 尺 4 寸 但 2 切	1 尺二付 28 匁 5 分	㊦
[46]	形付呉呂服連	1 丈 3 尺 5 寸 但 1 切	1 間二付 286 匁	永井ヤ
[47]	い形付サア井	1 丈 5 尺 但 1 切	1 間二付 144 匁	村太
[48]	ろ同	3 丈 2 尺 但 3 切	同 62 匁	㊦
[49]	類違形付同	5 丈 4 尺 6 寸 但 6 切	同 53 匁 8 分	㊦
[50]	メンカントウ	1 丈 4 尺 但 2 切	1 尺二付 8 匁 1 分	㊥
[51]	い紋金巾	4 丈 2 尺 1 寸 但 7 切	同 8 匁 1 分	永井ヤ
[52]	ろ同	1 丈 8 寸	同 7 匁 6 分	吉更ヤ
	辰紅毛追脇荷			
[53]	い冠り更紗	142	32 匁 9 分 3 厘	△
[54]	ろ同	59	26 匁	松本ヤ
[55]	は同	24	16 匁 4 分	吉更ヤ
[56]	に同	63	13 匁 4 分	吉更ヤ
[57]	ほ同	249	3 匁 2 分 9 厘	此
[58]	い華毛氈	20 枚	164 匁	松ノヤ
[59]	ろ同	13 枚	143 匁	ふしヤ
[60]	は同	7 枚	140 匁	木下

出典・「辰阿蘭陀船本方并脇荷物見看板直入落札控」(長崎歴史文化博物館収蔵)。

註・落札商人欄の店印は次のようである。

永：永見、㊦：安田ヤ、◇：松田ヤ、△：松本ヤ、㊥：三国ヤ、㊦：村上、㊦：田原ヤ、㊥：江崎、  
 舎：藤ヤ、㊦：木下、全：長岡、㊦：入来ヤ、㊥：能登ヤ、㊦：吉梗ヤ、㊦：竹野ヤ、㊥：未詳、  
 ㊦：未詳、㊦：未詳。



って作成された。De eisch van zijn Majesteit den Keizer en verdere Heeren voor het aanstaande jaar 1844.<sup>(41)</sup> (来る1844年用の将軍ならびに閣僚らの注文書)は、天保15年(1844)用として前年天保14年(1843)に作成された注文書であり、将軍、御三卿の清水と一橋、老中(水野・堀田・真田)、若年寄(堀田)、長崎奉行(伊沢)、および阿蘭陀通詞の注文品(数量・品目名)が記されている。(史料10)従来みられた長崎地役人(阿蘭陀通詞は除く)の名前は一切記されていない。<sup>(42)</sup> バタヴィアの本店はこの注文書を受けて、翌年の日本向け「詔物」を用意するわけであるが、すべての需要に応えたわけではなかった。

## ②送り状

天保15年にスタット・ティール号Stad Thielが持ち渡った詔物に関する「送り状」Factuurは、本方荷物の「送り状」と同様バタヴィアにおいて、De Resident(理事官)より長崎出島のオランダ商館長に宛てて1844年6月25日付けで作成されたものである。<sup>(43)</sup> (史料11) この「送り状」には、Voor Z. M. den Keizer van Japan(日本の将軍用)、Voor het Tolken Collegie(阿蘭陀通詞用)、Voor den Landsheer van Satsuma(薩摩の領主用)、Afgegeven aan de Heer Wolf(ウォルフ氏へ渡す)との見出しの他は特に名前を記さず、無記名を含めた各見出しの下に梱包形態・数量・商品名・仕入値等の順で記されている。なお、ウォルフ氏とは出島商館の簿記役J. M. Wolffのことと思われる。

## ③提出送り状

詔物に関する「提出送り状」Opgegevene Factuurは、Voor Z. M. den Keizer(将軍用)とVoor den Rijksraad Simids Sama(閣老清水様用)およびVoor Z. M. den Keizer en verdere Rijks Grooten(将軍および幕府高官達用)の見出しの下にごく一部を除き全体的に簡略に記されている。<sup>(44)</sup> (史料12)

## ④積荷目録

天保15年にオランダ船が持ち渡った詔物を記す日本側史料としては、先の表1に掲げた「天保目録」が挙げられる。本史料の詔物に関しては、将軍(御用御詔)をはじめとして、御三卿の清水、老中(水野・堀田・真田)、若年寄(堀田)、長崎奉行(伊沢)の名のもとに詔物の品々が列記されている。本史料が、「提出送り状」Opgegevene Factuurからの直接の翻訳かどうかは未詳であるが、もしそうであったとすると、③で述べたように、「提出送り状」はごく一部を除き簡略に記されているため、翻訳の際、簡略部分が何らかの形(口頭もしくはメモ類)でかなり補われたことになる。したがって、詔物に関しては、③提出送り状だけでなく、②送り状と④積荷目録とを突き合わせることで、彼我の用語を確定することができる。しかし、②③④

は実際に品物を点検した「荷改」後に作成された史料ではないため、発注者に向けて日本側に渡された品物と相違がみられる。

## ⑤販売リスト

Komp.<sup>s</sup> rekening courant 1844.(日本商館勘定帳)内には、Bijlaag N<sup>o</sup>. 3. Verkoop rekening van de eisch goederen dit jaar voor den Keizer aangebragt.<sup>(45)</sup> (付録文書3 御用御詔売上計算書)が付されており、本史料により、将軍用と清水様用として販売された品物のリストと数量および価額を知ることができる。(史料13) また、Kambang rekening courant 1844.(日本商館脇荷勘定帳)内には、Bijlaag N<sup>o</sup>. 1. Lijst der eischgoederen A<sup>o</sup>. 1844.<sup>(46)</sup> (付録文書1 詔物リスト)が付されており、本史料により、老中(水野・堀田・真田)、若年寄(堀田)、長崎奉行(伊沢)および宛先は記されていないが「薩摩の領主」に販売された品物のリストと数量および価額を知ることができる。(史料14)

## ⑥詔物会所渡しリスト

当時詔物の取引を担当した御用方通詞(阿蘭陀通詞の加役、先の御内用方通詞)が書き留めた「天保十三寅年ヨリ 御用方諸書留」<sup>(47)</sup> (以下「御用方諸書留」と記す)には、天保15年8月6日から8日にかけて御用方通詞を通して「御用御詔」から「伊沢美作守様御詔」までの詔物が具体的に出島から長崎会所に渡されたことが記されており、各詔物の日本側品目名と数量を知ることができる。したがって、本史料と⑤販売リストを突き合わせることで、オランダ側から発注者に向けて、日本側(長崎会所)に渡された品物に関する彼我の用語と数量、販売価額を知ることができる。

上記に紹介した①注文書・②送り状・③提出送り状・④積荷目録・⑤販売リスト・⑥詔物会所渡しリストを順次突き合わせて一覧表にしたものが表9である。

表9については次のことを注記事項として掲げておく。

- ・本表では、各商品の品目は、「積荷目録」に記されている順に並べた。
- ・オランダ側商品名各単語の表記については、その頭文字は、基本的には小文字とし、地名・人名・書籍のタイトル名のみ大文字で記した。
- ・日本側商品名で用いられている「同」、オランダ側商品名で用いられているd., idem, 〃(=同)は、それに相当する単語を記した。
- ・数字は基本的に算用数字で記した。
- ・④「積荷目録」および⑥「御用方諸書留」に記されている詔物の受取人(=発注者)は以下の如くである。

「御用御詔」～十二代将軍徳川家慶

「清水様御詔」～御三卿清水家徳川斉彊

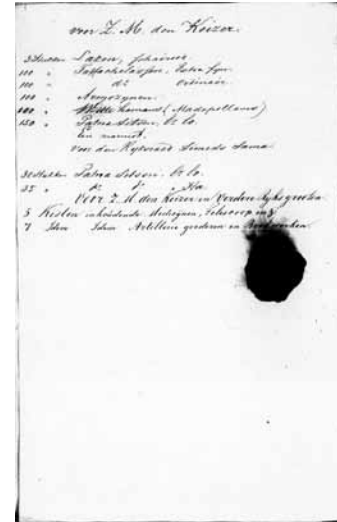
「水野越前守様御詔」～老中水野越前守忠邦



史料 10 詔物の注文書



史料 11 詔物の送り状



史料 12 詔物の提出送り状

Verkeersrekening van de Keizerlijke Schepen  
van de Keizer uitgegeven

Item	Soorten	Stukken	Waarde
1	Van de Keizer	100	100
2	Van de Keizer	100	100
3	Van de Keizer	100	100
4	Van de Keizer	100	100
5	Van de Keizer	100	100
6	Van de Keizer	100	100
7	Van de Keizer	100	100
8	Van de Keizer	100	100
9	Van de Keizer	100	100
10	Van de Keizer	100	100
11	Van de Keizer	100	100
12	Van de Keizer	100	100
13	Van de Keizer	100	100
14	Van de Keizer	100	100
15	Van de Keizer	100	100
16	Van de Keizer	100	100
17	Van de Keizer	100	100
18	Van de Keizer	100	100
19	Van de Keizer	100	100
20	Van de Keizer	100	100
21	Van de Keizer	100	100
22	Van de Keizer	100	100
23	Van de Keizer	100	100
24	Van de Keizer	100	100
25	Van de Keizer	100	100
26	Van de Keizer	100	100
27	Van de Keizer	100	100
28	Van de Keizer	100	100
29	Van de Keizer	100	100
30	Van de Keizer	100	100
31	Van de Keizer	100	100
32	Van de Keizer	100	100
33	Van de Keizer	100	100
34	Van de Keizer	100	100
35	Van de Keizer	100	100
36	Van de Keizer	100	100
37	Van de Keizer	100	100
38	Van de Keizer	100	100
39	Van de Keizer	100	100
40	Van de Keizer	100	100
41	Van de Keizer	100	100
42	Van de Keizer	100	100
43	Van de Keizer	100	100
44	Van de Keizer	100	100
45	Van de Keizer	100	100
46	Van de Keizer	100	100
47	Van de Keizer	100	100
48	Van de Keizer	100	100
49	Van de Keizer	100	100
50	Van de Keizer	100	100
51	Van de Keizer	100	100
52	Van de Keizer	100	100
53	Van de Keizer	100	100
54	Van de Keizer	100	100
55	Van de Keizer	100	100
56	Van de Keizer	100	100
57	Van de Keizer	100	100
58	Van de Keizer	100	100
59	Van de Keizer	100	100
60	Van de Keizer	100	100
61	Van de Keizer	100	100
62	Van de Keizer	100	100
63	Van de Keizer	100	100
64	Van de Keizer	100	100
65	Van de Keizer	100	100
66	Van de Keizer	100	100
67	Van de Keizer	100	100
68	Van de Keizer	100	100
69	Van de Keizer	100	100
70	Van de Keizer	100	100
71	Van de Keizer	100	100
72	Van de Keizer	100	100
73	Van de Keizer	100	100
74	Van de Keizer	100	100
75	Van de Keizer	100	100
76	Van de Keizer	100	100
77	Van de Keizer	100	100
78	Van de Keizer	100	100
79	Van de Keizer	100	100
80	Van de Keizer	100	100
81	Van de Keizer	100	100
82	Van de Keizer	100	100
83	Van de Keizer	100	100
84	Van de Keizer	100	100
85	Van de Keizer	100	100
86	Van de Keizer	100	100
87	Van de Keizer	100	100
88	Van de Keizer	100	100
89	Van de Keizer	100	100
90	Van de Keizer	100	100
91	Van de Keizer	100	100
92	Van de Keizer	100	100
93	Van de Keizer	100	100
94	Van de Keizer	100	100
95	Van de Keizer	100	100
96	Van de Keizer	100	100
97	Van de Keizer	100	100
98	Van de Keizer	100	100
99	Van de Keizer	100	100
100	Van de Keizer	100	100

史料 13 御用御詔売上計算書

Verkeersrekening van de Keizerlijke Schepen  
van de Keizer uitgegeven

Item	Soorten	Stukken	Waarde
1	Van de Keizer	100	100
2	Van de Keizer	100	100
3	Van de Keizer	100	100
4	Van de Keizer	100	100
5	Van de Keizer	100	100
6	Van de Keizer	100	100
7	Van de Keizer	100	100
8	Van de Keizer	100	100
9	Van de Keizer	100	100
10	Van de Keizer	100	100
11	Van de Keizer	100	100
12	Van de Keizer	100	100
13	Van de Keizer	100	100
14	Van de Keizer	100	100
15	Van de Keizer	100	100
16	Van de Keizer	100	100
17	Van de Keizer	100	100
18	Van de Keizer	100	100
19	Van de Keizer	100	100
20	Van de Keizer	100	100
21	Van de Keizer	100	100
22	Van de Keizer	100	100
23	Van de Keizer	100	100
24	Van de Keizer	100	100
25	Van de Keizer	100	100
26	Van de Keizer	100	100
27	Van de Keizer	100	100
28	Van de Keizer	100	100
29	Van de Keizer	100	100
30	Van de Keizer	100	100
31	Van de Keizer	100	100
32	Van de Keizer	100	100
33	Van de Keizer	100	100
34	Van de Keizer	100	100
35	Van de Keizer	100	100
36	Van de Keizer	100	100
37	Van de Keizer	100	100
38	Van de Keizer	100	100
39	Van de Keizer	100	100
40	Van de Keizer	100	100
41	Van de Keizer	100	100
42	Van de Keizer	100	100
43	Van de Keizer	100	100
44	Van de Keizer	100	100
45	Van de Keizer	100	100
46	Van de Keizer	100	100
47	Van de Keizer	100	100
48	Van de Keizer	100	100
49	Van de Keizer	100	100
50	Van de Keizer	100	100
51	Van de Keizer	100	100
52	Van de Keizer	100	100
53	Van de Keizer	100	100
54	Van de Keizer	100	100
55	Van de Keizer	100	100
56	Van de Keizer	100	100
57	Van de Keizer	100	100
58	Van de Keizer	100	100
59	Van de Keizer	100	100
60	Van de Keizer	100	100
61	Van de Keizer	100	100
62	Van de Keizer	100	100
63	Van de Keizer	100	100
64	Van de Keizer	100	100
65	Van de Keizer	100	100
66	Van de Keizer	100	100
67	Van de Keizer	100	100
68	Van de Keizer	100	100
69	Van de Keizer	100	100
70	Van de Keizer	100	100
71	Van de Keizer	100	100
72	Van de Keizer	100	100
73	Van de Keizer	100	100
74	Van de Keizer	100	100
75	Van de Keizer	100	100
76	Van de Keizer	100	100
77	Van de Keizer	100	100
78	Van de Keizer	100	100
79	Van de Keizer	100	100
80	Van de Keizer	100	100
81	Van de Keizer	100	100
82	Van de Keizer	100	100
83	Van de Keizer	100	100
84	Van de Keizer	100	100
85	Van de Keizer	100	100
86	Van de Keizer	100	100
87	Van de Keizer	100	100
88	Van de Keizer	100	100
89	Van de Keizer	100	100
90	Van de Keizer	100	100
91	Van de Keizer	100	100
92	Van de Keizer	100	100
93	Van de Keizer	100	100
94	Van de Keizer	100	100
95	Van de Keizer	100	100
96	Van de Keizer	100	100
97	Van de Keizer	100	100
98	Van de Keizer	100	100
99	Van de Keizer	100	100
100	Van de Keizer	100	100

史料 14 詔物リスト

「堀田備中守様御詔」～老中堀田備中守正篤  
(なお、堀田備中守正篤は、天保14年(1843)閏9月8日に御役御免になっている。)

「真田信濃守様御詔」～老中真田信濃守幸貫  
(なお、真田信濃守幸貫は、天保15年(1844)5月13日に辞職している。)

「堀田摂津守様御詔」～若年寄堀田摂津守正衡  
(なお、堀田摂津守正衡は、天保14年(1843)10月24日に罷免になっている。)

「伊沢美作守様御詔」～長崎奉行伊沢美作守政義

本表作成によって注目される点については以下のようである。

○前年度の注文品目数の合計は58で、その内、41品目、すなわち71%がもたらされ、さらに17品目もの品々が詔物として輸入されている。

○仕入値<sup>(48)</sup>に対する売値の割合をみると、御用御詔・清水様御詔では、「航海家暦」が4.44倍の収益増を示す以外では、コンマ以下の赤字となっている。それに対して、老中水野越前守以下の詔物では、全て1.00倍以上の黒字となっており、「釵付筒」にいたっては、62.61倍を示している。

○品物としては、暦、染織類、望遠鏡、薬品類、軍事関係の書籍、化学関係の書籍、武器と武器関係の道具・部品などからなっているが、中でも軍事関係の品々が多いことが注目される。

○この時期(幕末期)、日本側は「詔物」としての取引枠を使って、軍事関係の書籍や武器、および武器関係の道具や部品などを中心に品数を絞り、早期に入手していたことが具体的に判明する。これは、まさにアヘン戦争の詳細を受けて幕閣が洋式砲術採用に取り組ん

表9 天保15年(1844)オランダ船詔物とその取引

①		②			③	
Eisch		Factuur			Opgegevene Factuur	
Goederen	Hoeveelheid	Goederen	Hoeveelheid	課(タ)税(ペー)	Goederen	Hoeveelheid
De eisch van Zijne Majesteit den Keizer voor het aanstaande jaar 1844		Voor Z. M. den Keizer van Japan			Voor Z. M. den Keizer	
Almanak van 7 planeten om de loop van □	-	Zeemans Almanak 1845 [Wolf]	1	3.00	*	*
		Bataviasche Almanak 1844 [Wolf]	1	8.00	*	*
laken schairood	3 stuks	※	※	※	laken, schairood	3 stukken
gekleurde armozijn / van verscheidene kleuren	100 stuks	※	※	※	armozijsen	100 stukken
gestreepte armozijn / van verscheidene streepen	100 stuks	※	※	※		
gestreepte armozijn / in het jaar 1795 monster lappje geeischt	44 stuks	※	※	※		
taffaselas extra fijn	100 stuks	※	※	※	taffachelassen, extra fijn	100 stukken
taffaselas ordinair	100 stuks	※	※	※	taffachelassen, ordinair	100 stukken
beste witte hamans	100 stuks	witte hamans of Madapollams [Z.M.]	100 stuks	896.87½	witte hamans (Madapollams)	100 stukken
chits Patanas letter Lo	150 stuks	Patna chitzen L. Lo [Z.M.]	180 pees	738.00	Patna sitsen, l. Lo	150 stukken
Handboek voor Militair	-	Scharmhorst Militaire Zakboek	1	10.45	*	*
Bereiding voor Buskruid	-	De Bruijn Voorlezingen over de Artillerie voor Buskruid Gieterij etc.	1	13.00	*	*
Vesting bouwkunde	-	Uitrusting staat	1	0.82½	*	*
-	-	Aanhangsel op Velt artillerie	1	0.72	*	*
Veldartillerie	-	Exercetie Reglement der Velt artillerie	1	3.00	*	*
-	-	Merkus Vesting bouwkunde	1	10.00	*	*
kamferbaars	30 kattie	-	-	-	-	-
roggevel	30 stuks	-	-	-	-	-
klambak / ieder weegt van omtrent 10 theil tot 40 theil, en van beste kwaliteit /	20 stuks	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	mormot	1
Voor den Wel Edelen Groot Achtb: Heer Simids Sama		-			Voor den Rijksraad Simids Sama	
chits Patanas letter Lo	30 stuks	[上掲]			Patna sitsen, l. Lo	30 stukken
chits Patanas letter Ha	35 stuks	Patna chitzen L. Ha [Z.M.]	35 pees	107.62½	Patna sitsen, l. Ha	35 stukken
Voor den Wel Edelen Groot Achtb: Heer Midsno Etsizennokami Sama Eerste Raadsheer		-			Voor Z. M. den Keizer en verdere Rijks Grooten medicijnen, telescoop enz. artillerie goederen en boekwerken	5 kisten 7 kisten
nacht kijker	1	nacht kijker [Z.M.]	1	82.00	*	*
sterrekijker	1	sterre kijker / groote telescoop [Z.M.] voet stuk behoorende bij den telescoop [Z.M.]	1 1	512.50	*	*
Kunst om Vuurwerk te maken	1	Sesseler over de Ernst Vuurwerken	2	14.68	*	*
Artillerie Reglement	1	Exercetie Reglement der Vesting artillerie voor Schutterijen	1	0.60½	*	*
Busschel Handleiding voor de Onderoffisier	1	Beusscher Handleiding voor Onder officieren	1	12.28½	*	*
Taktiek der Drie Wapens	1	Dikker Taktiek der Drie Wapens	1	12.30	*	*
Kleine Oorlog	1	-	-	-	-	-
Militair Zakboek	1	-	-	-	-	-
Memoriaal	1 stel	-	-	-	-	-
Buis Woordenboek in 10 deelen	1 stel	-	-	-	-	-
Verhandeligen van IJzer gieterij en Smederij	-	-	-	-	-	-
Smallenburg Scheikunde	1	-	-	-	-	-
platina	20 theil	-	-	-	-	-

[illegible]



## 江戸時代後期における出島貿易品の基礎的研究

①		②			③	
Eisch		Factuur			Opgegevene Factuur	
Goederen	Hoeveelheid	Goederen	Hoeveelheid	額(クマデノ)	Goederen	Hoeveelheid
Voor den Wel Edelen Groot Achtb: Heer Hotta Bitsuno Kami Sama Eerste Raadsheer		-			*	
jagerbuks met hartsvanger	10 stuks	buksen met vuursteen sloten a ⅓ met sabel bajonetten	30	504.00	*	*
		drijvers tot buksen	30	15.00	*	*
		hamers tot drijvers	30	15.00	*	*
		kruid hoorn met riem	30	1.48	*	*
		kruid maatjes	30	11.10	*	*
karabijn	2 stuks	karabijnen a ⅓ nieuw model 1825	4	61.76	*	*
dommekracht	□ stuks	dommekrachten N°. 5	2	133.50	*	*
		dommekrachten N°. 6	2			
		dommekrachten N°. 8	2			
		dommekrachten N°. 12	1			
-	-	[上掲]				
zeeajuin	□ katties	zee ajuin [Z.M.]	4 ⅞lb.	3.48	*	*
voer- of slot schroef	□ stuks	kleine slot schroeven	2	0.20	*	*
Boeken Theorie om Vuurwerken te maken	□ stel	-	-	-	-	-
Voor den Wel Edelen Groot Achtb: Heer Sanada Sinanonokami Sama Eerste Raadsheer		-			*	
Werktuig om vuursteen te hakken	1 stel	bijtel op blok	1	9.96	*	*
		ijzeren rol bijtel	1			
		kleine ijzeren hamer	1			
		moker	1			
-	-	buizen trekker	1	44.08	*	*
		kopere fretboren } nieuwe model	2			
		kopere sasboren }	2			
-	-	buizen blok	1	3.00	*	*
-	-	Dikker Taktiek der Kleine Oorlog	1	6.06	*	*
Theoretisch en Practisch ten dienst van opzigt timmerlieden, metzelaars en verdere bouwkundigen d □ W.C. Brade bij J.A. van Weelden, 1834.	-	-	-	-	-	-
buks van gedraaide loop met al toebehoren	1 stuks	-	-	-	-	-
Peksans van middelbare grootte en van m □ of ijzer / met al zijn toebehoren, als: 10 a 12 vuur brandkogels, bommen, granaten, enz./	-	-	-	-	-	-
Voor den Wel Edelen Groot Achtb: Heer Hotta Setsnokami Sama Tweede Raadsheer		-			*	
karabijn	2 stuks	[上掲]				
invanteriegeweer met al zijn toebehoren	100 stuks	geweeren bajonetten a ⅓ lang silix mod N°. 2 nieuw	25	19.04	*	*
		geweeren bajonetten a ⅓ korte silix	25			
jagerbusen met al zijn toebehoren	□ stuks	[上掲]				
dommekracht	□ stuks	[上掲]				
-	-	lont stok	1	1.53	*	*
-	-	zunder stok zonder haak	1	1.62	*	*
-	-	lont verberger	1	2.74	*	*
tanacetum	□ kattie	tanacetum [Z.M.]	1½ ⅞lb.	10.25	*	*
gom elastiek	½ kattie	gom elastiek [Z.M.]	½ ⅞lb.	6.15	*	*
zalpeterzuur busmut	2 theil	salpeter zuur besmuth [Z.M.]	2½ onc.	3.06	*	*
-	-	buizen stamper a 29 d"	1 stel	2.45	*	*
		buizen stamper a 20 d"	1 stel	0.37½	*	*
		buizen stamper a 15 d"	1 stel	0.30	*	*
		buizen stamper a 13 d"	1 stel	3.37½	*	*
-	-	buizen slager	1	0.30	*	*
-	-	blikken trekker tot het vullen van bommen	1	0.80	*	*
-	-	blikken trekker tot het vullen van grenaten	1	0.80	*	*
-	-	buizen zettters in soorten	3	1.98	*	*
-	-	buizen hamers	1	0.50	*	*
-	-	lood schoffels tot buizen in soorten	2	2.00	*	*
boor voor bom en granaat buis	□ stuks	ijzere booromslag tot sasbooren	1	4.06	*	*
-	-	mijzel tot fretbooren	1	2.00	*	*
zakpistool met al zijn toebehoren	□ stuks	-	-	-	-	-
musket met al zijn toebehoren	□ stuks	-	-	-	-	-
zundelskoker met regen scherm	□ stuks	-	-	-	-	-
korst van koepokken voor vaccine	5	-	-	-	-	-

④		⑤						⑥	
積荷目録		Rekening Courant						御用方諸書留	
商 品	数 量	Goederen	Hoeveelheid	価額(テメ)	總(リ・ル・テン)	本 仕 入 値		商 品	数 量
堀田備中守様御読		Voor Hotta Bitsuno Kami Sama						堀田備中守様御読	
鋳付ヤ・カルビ・ユクス (堀田備中守様御読: 鋳馬筒) 鋳付ヤ・カルビ・ユクス	10 挺 (20 挺)	buks met sabel met al toebehooren	10	131.00	209.60	1.15		鋳付ヤ・カルビ・ユクス	10 挺
騎 馬 筒 (堀田備中守様御読: 騎馬筒)	2 挺 (2 挺)	karabijn	2	24.20	38.72	1.25		騎 馬 筒	2 挺
萬 力 (堀田備中守様御読: 萬力)	中 2 挺 (5 挺)	dommekracht N:8	2	28.84	46.14	1.08		萬 力	2 挺
セツセル・エルム・スト・ユル・ウエル・カン	1 冊	Sesseler Ernst Vuurwerken	1	5.73	9.17	[上掲]		セツセル・エルム・スト・ユル・ウエル・カン	1 冊
セ イ ア ユ イ ン	-	zeeajuin	3 kattie 1875	15.9375	25.50	7.33		ゼー・ア・ユ・イン	珠 510 粒
スロツト・ス・クル・ル・フ	2 ツ	slotschroef	2	0.25	0.40	2.00		スロツト・ス・クル・ル・フ	2 ツ
-	-	-	-	-	-	-		-	-
真田信濃守様御読		Voor Sanada Sinanono Kami Sama						真田信濃守様御読	
遂 石 切 道 具	1 揃	werktuig om vuursteen te hakken	1 stel	7.78	12.45	1.25		礎 石 切 り 道 具	1 揃
ボヒセン・テ・レツ・ケル	1	-	-	-	-	-		-	-
ボイセン・ブ・ロツク	1	-	-	-	-	-		-	-
タイツ・ケル・クレイ・オ・ル・ロク	1 冊	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
堀田摂津守様御読		Voor Hotta Setsnokami Sama						堀田摂津守様御読	
騎 馬 筒	2 挺	karabijn	2	24.20	38.72	[上掲]		騎 馬 筒	2 挺
鋳 付 筒	50 挺	geweer met bajonet	50	745.00	1192.00	62.61		鋳 付 筒	50 挺
鋳付ヤ・カルビ・ユクス	20 挺	buks met sabel met al toebehooren	20	262.00	419.20	[上掲]		鋳付ヤ・カルビ・ユクス	20 挺
萬 力	5 挺	dommekracht (grootste)	1	21.63	34.61	[上掲]		萬 力	5 挺
		(middelgrootte)	2	21.63	34.61				
		(kleinste)	2	18.02	28.83				
火 縄 挟	2 本	landstok	1	2.46	3.94	1.25		火 縄 挟	2 本
		zundelstok	1						
火 縄 雨 覆	1	landverberger	1	2.14	3.42	1.25		火 縄 雨 覆	1
タナセー・ラ・コシ	-	tanacetum	1½ 'lb.	6.92	11.07	1.08		タナセー・テ・ユム	珠 154 粒
コム・エラス・ティ・キ	-	gom elastiek	½ 'lb.	4.15	6.64	1.08		ゴム・エラス・ティ・キ	珠 60 粒
サル・ヘート・ル・シ・ユル・ヒ・ユス・メ・ツト	-	salpeterzuur busmuth	2½ onc.	2.06	3.30	1.08		サル・ヘート・ル・シ・ユル・ヒ・ユス・メ・ツト	珠 20 粒
ボイセン・ス・グム・ブル	5	-	-	-	-	-		-	-
ボイセン・ス・テ・グ・ル	1	-	-	-	-	-		-	-
ブリツ・チ・テ・ン・グ・トル	1	-	-	-	-	-		-	-
ブリツ・チ・テ・ン・グ・トル	1	-	-	-	-	-		-	-
ボイセン・セ・ツ・トル	3	-	-	-	-	-		-	-
ホイ・セン・ト・ム・ル	1	-	-	-	-	-		-	-
ラート・ス・コッ・フル	2	-	-	-	-	-		-	-
ユイ・セン・ボ・ル・オ・ス・ク・ト・ワ・ツ・ボ・ル	1	-	-	-	-	-		-	-
メイセル・ト・ワ・ツ・フ・レ・ツ・ト・メ・イル	1	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-

①		②			③	
Eisch		Factuur			Opgegevene Factuur	
Goederen	Hoeveelheid	Goederen	Hoeveelheid	額(グルデン)	Goederen	Hoeveelheid
Voor den Wel Edelen Groot Achtb: Heer Isawa Mimasakanokami Sama Gouverneur van Nagasaki		-			*	
ruwe buffelsvel / breede soort, hoe dikker hoe beter /	6	ruwe buffels huden [Z.M.]	6	18.45	*	*
-	-	zunder bus met riem (blikken)	1	2.50	*	*
buizentrekker voor bom en gereedschapper om sas in buis te doen	1	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
Voor den Wel Edelen Groot Achtb: Heer Hitotsbasi Sama		-			-	
chits (gemeen)	40 stuks	-	-	-	-	-
Voor het Collegie		Voor het Tolken Collegie			-	
papieren	10 riem	afgesneden Holl. Pap' [Tolken]	10 riemen	143.50	-	-
potlooden	5 dozijn	potloten [Tolken]	60	15.37½	-	-
-	-	Voor den Landsheer van Satsuma			-	
-	-	gouden inkt en penceel koker met gedrukte figuren [Satsuma]	1	500.40	-	-
-	-	Afgegeven aan de Heer Wolf			-	
-	-	Smallenburg Leerb. der Scheikunde [Wolf]	1 exempl.	22.80	-	-
-	-	-			-	
-	-	De Bruijn Militair Zakboekje	1	7.70	-	-

註・②Factuur内の詠物品目名の後に記した【Z.M.】は、'Voor Z. M. den Keizer van Japan'、【Wolf】は、'Afgegeven aan de Heer Wolf'、【Tolken】は、'Voor het Tolken Collegie'、【Satsuma】は、'Voor den Landsheer van Satsuma'のもとに記されている詠物であることを示しており、無印は宛先が特に記されていない詠物である。また、※印は、本方荷物の Factuur にそれぞれに相当する品目・数量があることを示す。

・③Opgegevene Factuur内に記した\*印は、Opgegevene Factuurの末尾に記された

Voor Z. M. den Keizer en verdere Rijks Grooten  
5 kisten inhoudende medicijnen, telescoop enz.  
7 idem idem artillerie goederen en boekwerken  
に相当すると考えられるものである。

・⑤Rekening Courant内の詠物品目名の後に記した【Sanada】は、①積荷目録の段階で、真田信濃守の詠物とされていたことを示す。同じく、【Sets】は、堀田孫津守の詠物とされていたことを示す。また、【Wolf】は、②Factuur段階で'Afgegeven aan de Heer Wolf'のもとに記されていたことを示す。同じく【-】は、②Factuur段階で宛先が特に記されていない品物であることを示す。

・⑤Rekening Courant内の価額(テール)は、御用御詠・清水様御詠はカンパニータール、水野越前守様御詠以下はカンバンテール。

・⑤Rekening Courant内の価額(テール)から価額(グルデン)への換算は、御用御詠・清水様御詠では、テール(カンパニータール)：グルデン＝1：1 ⅓、水野越前守様御詠以下では、テール(カンバンテール)：グルデン＝1：1.6。

だあらわれといえよう。

○阿蘭陀通詞が前年度に注文した2品目は「送り状」より持ち渡られていることが確認されるが、「提出送り状」・「積荷目録」・「販売リスト」等には一切記されていない。通詞という日蘭双方の間に立って通訳官兼商務官という特権より詠物という取引を通して利益を得ていたと考えられる。<sup>(49)</sup>

次に、本章巻頭でも述べたように近世後期の詠物は将軍をはじめとする幕府高官、長崎地役人等によってオランダ船に注文されたものの持ち渡り品であった。管見の限り、天保13年(1842)までは詠物の取引に町年寄等長崎地役人の名前は記されている。<sup>(50)</sup> 天保14年に関しては、史料が残されていないため不明であるが、

本章で見てきたように天保15年の場合、長崎地役人の詠物の取引は阿蘭陀通詞を除いて一切記されていない。上記の注目点でも記したように、おそらくこの時期(幕末期)になると、「詠物」の取引枠を使って幕府が軍事関係の品々を入手することに努めるようになったためであろう。では、阿蘭陀通詞を除く地役人は日蘭貿易の取引から一切姿を消したのであろうか。

「御用方諸書留」には、

御所望

久喜殿〔＝長崎会所調役 久松喜兵衛忠豊〕

一、袂時計 式 代銀 八百目

一、曲録 式 同 百五十拾目

一、白葡萄酒 式ふらすこ 同 三拾目

④		⑤						⑥	
積荷目録		Rekening Courant						御用方諸書留	
商 品	数 量	Goederen	Hoeveelheid	価額(タード)	額(グールド)	率 値 仕入値		商 品	数 量
伊沢美作守様御誂		Voor Isawa Mimasakanokami Sama						伊沢美作守様御誂	
水 牛 皮	6 枚	buffelsvel	6	11.53	18.45	1.00		水 牛 皮	6 枚
胴 葉 入	1	zundelbus met riemen (blikken)	1	1.87	2.99	1.20		胴 葉 入	1
-	-	buizen trekker met 2 fretboor en 2 sasboor [Sanada]	1	33.44	53.50	1.21		ボイセンテレックル	1
-	-	buizen blok [Sanada]	1	2.33	3.73	1.24		ボイセンブロック	1
-	-	buizen stamper [Sets]	9	1.17	1.87	-		ボイセンスタムブル	9
-	-	buizen slager [Sets]	1	0.23	0.37	1.23		ボイセンスラーゲル	1
-	-	blikken trechter tot vullen van bommen [Sets]	1	0.60	0.96	1.20		ブリッキテレイグトル	1
-	-	blikken trechter tot vullen van grenaten [Sets]	1	0.60	0.96	1.20		ブリッキテレイグトル	1
-	-	buizen zetter [Sets]	3	1.54	2.46	1.24		ボイセンセトル	3
-	-	buizen hamer [Sets]	1	0.39	0.62	1.24		ボイセンハームル	1
-	-	laadschoffer [Sets]	2	1.50	2.40	1.20		ラードスコッフル	2
-	-	ijzeren omslag tot sasboor [Sets]	1	3.17	5.07	1.25		エイゼンボールオムスラグ・ト・サス ボール	1
-	-	mijzel tot fretboor [Sets]	1	1.50	2.40	1.20		メイセル・ト・フット・フレイク・ボール	1
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	gouden inkt- en penseelkoker	1	312.75	500.40	1.00		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-
-	-	-	-	-	-	-		-	-

出典・①～Eischは、'De eisch van zijn Majesteit den Keizer en verdere Heeren voor het aanstaande jaar 1844.' MS.N.A. Japans Archief, nr.1718(Aanwinsten,1910,I:No.78).(Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-130-3).  
 ・②～Factuurは、'Factuur 1844.' MS.N.A. Japans Archief, nr.1738(Aanwinsten,1910,I:No.107).(Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-131-6).  
 ・③～Opgegevene Factuurは、'Opgegeven Nieuws, Facturen en Monsterrol 1844.' MS.N.A. Japans Archief, nr.1749(Aanwinsten,1910,I:No.118).(Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-131-17).  
 ・④～積荷目録は、『天保雑記』第五十六冊『内閣文庫所蔵史料叢刊』第34巻、汲古書院、昭和58年、655頁)。  
 ・⑤～Rekening Courantは、'Komp. rekening courant 1844.' MS.N.A. Japans Archief, nr.1803(Aanwinsten, 1910,I:No.170).(Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-133-18).と、'Kambang rekening courant 1844.' MS.N.A. Japans Archief, nr.1878(Aanwinsten,1910,I:No.256).(Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-135-5).  
 ・⑥～御用方諸書留は、『天保十三寅年ヨリ 御用方諸書留』(長崎歴史文化博物館収蔵)。

一、将基駒并盤 壺揃 同 百目  
 〆 〆 壺貫八拾目  
 とあり、以下、長崎地役人の「御所望」品の取引が列記されており、表にして示せば表10のようである。中村質氏によると、「奉行以下の幕吏や、代官・町年寄以下唐蘭通詞や長崎会所請払役クラス以上の上級地役人には幕府「御用物」に準じて、役料などのほかに、「除き物」と称しその地位に応じて毎年一定の輸入品の優先的購入権が認められていた。」<sup>(51)</sup> 表10に記されている「御所望」品はまさにそれに相当するものである。ここで取引された品々の内、末尾に記されている高木清右衛門が購入した「オルゴル」と「袂時計」は「かひたん」(商館長)が所持していたものであった。その他の品物

に関しては未詳であるが、脇荷貿易賃借人が持ち渡った脇荷物の中の脇荷取引にかけられなかった品が含まれていたと考えられる。<sup>(52)</sup> 長崎地役人は詔物の取引からは排除されたが、このように優先的購入権のもと「御所望」品として出島商館から輸入品を入手していたのである。なおこれ以降、詔物の取引から阿蘭陀通詞を除いて長崎地役人が姿を消したか否かについては、今後の課題としたい。<sup>(53)</sup>

#### おわりに―天保15年の日蘭貿易―

以上、本稿では「天保雑記」第五十六冊所収の天保15年オランダ船積荷目録をめぐるオランダ側史料と日本側史料とを調査・検討・照合し、本方荷物・脇荷物・



表 10 天保 15 年 (1844) 長崎地役人の「御所望」品

商 品	数 量	代 銀
久喜殿〔＝長崎会所調役 久松喜兵衛忠豊〕		
袂時計	2	800 目
曲録	2	150 目
白葡萄酒	2 ふらすこ	30 目
将基駒并盤	1 揃	100 目
〆		〆 1 貫 080 目
久新殿〔＝町年寄 久松新兵衛定益〕		
袂時計	1	500 目
墨入 但玉四ツ添	1	3 貫 127 匁 5 分
曲録	1	75 匁
髭サボン	2 包 12	30 目
匂水	6 瓶	20 目
火燈	1	150 目
〆		〆 3 貫 902 匁 5 分
福猶〔＝町年寄 福田猶之進重恭〕		
袂時計	1	5 貫 250 目
羊角燈籠	1	16 匁
ランセッタ	6	100 目
こつふ	12	56 匁 4 分
〆		〆 5 貫 422 匁 4 分
高次殿〔＝町年寄 高木清右衛門忠豪〕		
袂時計	1	1 貫目
セキ Stanton	1	1 貫 200 目
寒暖昇降	1	100 目
時計巻金	12	20 目
こつふ	6	80 目
〆		〔 〆 2 貫 400 目〕
高貞殿〔＝鉄砲方 高木貞四郎忠知〕		
袂時計	1	1 貫目
持筒 但皮袋 2 ツ塩硝 2 鐘むじ 4 包添	2 箱	1 貫目
〔 〆〕		〔 〆 2 貫目〕
高作殿〔＝町年寄 高島作兵衛永願〕		
帆糸綿	1 反	110 匁
髭サボン	1 包 但 6 ツ	15 匁
〆		〔 〆 125 匁〕
高貞殿〔＝鉄砲方 高木貞四郎忠知〕		
鯉音呼	1 羽	215 匁
小形鸛鷄	2 羽	150 目
〔 〆〕		〔 〆 365 匁〕
高次殿〔＝町年寄 高木清右衛門忠豪〕		
オルゴル*	1	2 貫 500 目
袂時計*	1	300 目
〔 〆〕		〆 2 貫 800 目

出典・「天保十三寅年ヨリ 御用方諸書留」(長崎歴史文化博物館収蔵)。  
 注・※印の「オルゴル」と「袂時計」は「持主かひたん」の品物が商品となったもの。

詔物の取引を中心に考察をおこなった。最後に、本稿で得た結果を踏まえ、天保15年のオランダ船持ち渡り品からみた日蘭貿易について概観し、まとめとしたい。まず、各品目についてみると、本方荷物は、主に染織品・白砂糖・蘇木・象牙・丁子・胡椒・紫檀・肉豆蔻・茴香・鉛・錫・水銀等であり、この中から選り分けられ翌年江戸へ持って行かれた献上・進物品は染織品からなっていた。本方荷物の品目は、17世紀・18世紀に比べればその種類と量は減少しているが、全体的に伝統的な取引商品からなっている。脇荷物は、薬品類、ガラス器・陶器・磁器などの食器類、鏡や酒・時計等々、雑貨・小間物類からなっている。これらは、本方荷物にはみられない品々であり、特に薬品類の種類多さは当時の医学を中心とした蘭学興隆の面からみると、文化史上、大変重要な取引商品ということがいえる。詔物は、暦、染織品、望遠鏡、薬品類、軍事関係の書籍、化学関係の書籍、武器と武器関係の道具・部品などからなっているが、中でも軍事関係の品々が多いことが注目される。19世紀に入ってから詔物に限ってみると、詔物は脇荷物と共通する品々が多く含まれており、薬品類やガラス器・陶器・磁器などの食器類、雑貨・小間物類がみられたが、本稿で考察した天保15年は詔物としての取引枠を使って、軍事関係の書籍や武器、およ

び武器関係の道具や部品などを中心に品数を絞り、早期に入手していたことがわかる。先述したように、これはまさにアヘン戦争の詳報を受けて幕閣が洋式砲術採用に取り組んだあらわれといえる。そのために従来詔物の取引に加わっていた長崎地役人(阿蘭陀通詞は除く)はその取引枠から排除される結果となっていた。

次に、本方荷物・脇荷物・詔物の取引に関するオランダ側の仕入と販売のそれぞれの総額についてみてみたい。このことは、史料の残り具合から全てを比較することは困難であるが、バタヴィアにおける仕入額としては、本方荷物は156,231.7505グルデン、脇荷物は38,779.52グルデンであり、4:1の割合であることがわかる。日本における取引の結果は、本方荷物全体(各所への贈り物等を含む。また、翌年の献上・進物品や進物残品の販売は除く)としては22,166.42グルデンの赤字を出している。しかし、先述したようにオランダは本方取引において日本で仕入れた物資をバタヴィアを中心とするその通商圏において販売することにより収益をあげるようになっていたであろう。脇荷物に関しては、史料が未詳であることよりわからないが、賃借人による脇荷取引(および脇荷取引以外での取引)がはじめられた天保6年(1835)の事例ではやはり赤字となっている。<sup>(54)</sup> 本方荷物同様日本での仕入品の販売によって最終的に収益を上げていたと思われる。詔物については、バタヴィアでの仕入総額は、4,104.10グルデン(本方荷物からの使用品は除く)であり、日本での販売総額は8,468.28グルデンであった。しかし、「御用御詔」の中には先述したように本方荷物として持ち渡られた猩々緋3反、海黄100反、新織奥嶋122反、奥嶋78反が使用されており、これら染織品の販売総額が、4,160.13グルデンであることより詔物の取引の収益としては、204.05グルデン(=8,468.28グルデン-4,104.10グルデン-4,160.13グルデン)となる。ところが、ここから日本までの輸送経費(未詳)が引かれればほとんど収益はなかったと推測される。したがって、詔物の取引においても、本方荷物・脇荷物と同様日本での仕入品の販売によって最終的に収益を上げるようになっていたと考えられる。このように天保15年のオランダにとっての日本貿易は、現地長崎での取引段階では収益は得られず、日本から持ち帰った物資の販売により収益を生む構造になっていたと推測される。これは、本稿第2章の本方荷物の取引でも述べたが、「取引の総額(御定高)」が決められていることによって生じている現象ではあるが、<sup>(55)</sup> そこまでして貿易を継続しようとするオランダ側の姿勢の背後には、当時(19世紀中葉)の国際環境の中で日本市場を確保しつつけようとするオランダの思惑があったのではないだろうか。

今回は天保15年の本方荷物・脇荷物・詔物の取引を

対象として考察をおこなったが、今後は、より多くの他年度の取引事例との比較検討が求められる。それらの調査研究により、近世後期における日蘭貿易の総合的な解明へとつながっていくものと思われる。

## 註

- (1) 山脇悌二郎「スタト・ティール号の積荷－江戸時代後期における出島貿易品の研究－」（『長崎談叢』第49輯、昭和45年）1頁参照。
- (2) 同上、5頁参照。
- (3) 南和男『『文政雑記』『天保雑記』解題』（『文政雑記・天保雑記（一）』内閣文庫所蔵史籍叢刊第32巻、汲古書院、昭和58年）3～5頁参照。
- (4) 『天保雑記（三）』内閣文庫所蔵史籍叢刊第34巻（汲古書院、昭和58年）652～701頁参照。
- (5) 近世の日蘭貿易は、大きく分けて二つの取引がおこなわれていた。一つは本方貿易と称し、オランダ東インド会社の会計に属する商品群の取引であり、東インド会社にとって直接損益にかかわるものであった。もう一つは脇荷貿易と称し、一定額だけ許された私貿易品の取引であった。なお、オランダ東インド会社は1799年に崩壊し、その後、日本との貿易はバタヴィアの東インド政庁の管理下に入り、長崎商館（出島）はこの政庁の商館になるが、長崎商館での本方貿易・脇荷貿易は以前同様につづけられた。オランダ船が持ち渡った積荷物には、<1>本方荷物～主に本方貿易で取引される商品、<2>脇荷物～主に脇荷貿易で取引される商品、<3>詭物～將軍をはじめとする幕府高官・長崎地役人等によってオランダ船に注文されたものの持ち渡り品、<4>献上・進物品～オランダ人が貿易取引を許されている御礼として江戸参府の際に贈る品（將軍へは献上品、幕府高官へは進物品と称した。なお、これらの品は<1>本方荷物の中から取引前に選り分けられたものである。）、その他、各所への贈り物やオランダ人が長崎商館で使用する日用品である遺捨品などが存在した。これら積荷物の内、「天保雑記」第五十六冊所収の「積荷目録」には天保15年の<1>本方荷物・<2>脇荷物・<3>詭物の取引にかけることが予定されている品々が記されている。
- (6) 註（1）参照、4頁。
- (7) 註（1）参照、4頁。
- (8) Factuur 1844. MS. N.A. Japans Archief, nr.1738(Aanwinsten, 1910, I : No.107). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-131-6).
- (9) Opgegeven Factuur. (Opgegeven Nieuws, Facturen en Monsterrol 1844.) MS. N.A. Japans Archief, nr.1749 (Aanwinsten, 1910, I : No.118). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-131-17).
- (10) 本稿第4章表9参照。拙著『日蘭貿易の構造と展開』（吉川弘文館、平成21年）182、186頁参照。
- (11) 原田伴彦「世相一 序」（『日本庶民生活史料集成』第11巻、昭和45年、三一書房）1～3頁参照。
- (12) 同上、4頁参照。
- (13) G. F. Meijlan, *Geschiedkundig Overzicht van den Handel der Europezen op Japan*. 1833. p.357.
- (14) 片桐一男校訂『鎖国時代対外応接関係史料』（近藤出版社、昭和47年）49頁参照。
- (15) 片桐一男・服部匡延校訂『年番阿蘭陀通詞史料』（近藤出版社、昭和52年）94頁参照。
- (16) 長崎県立長崎図書館編『オランダ通詞会所記録 安政二年萬記帳』（長崎県立長崎図書館、平成13年）228頁参照。
- (17) Bijlaag N<sup>o</sup>. 2. Komp<sup>s</sup>. verkoop 1844. (Komp<sup>s</sup>. rekening courant 1844.) MS. N.A. Japans Archief, nr.1803(Aanwinsten, 1910, I : No.170). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-133-18).
- (18) ここでの仕入値は、「送り状」に記された数値であり、バタヴィアでの仕入値である。出島仕入値にはバタヴィアから長崎までの輸送経費が加えられなければならないが、史料の都合上「送り状」の数値を仕入値としていることをことわっておく。
- (19) Rekening van winst en verlies op de Komp<sup>s</sup>. artikelen, in 1844 met het schip Stad Thiel aangebragt. Verslag, 1844. MS. N.A. Japans Archief, nr.1803(Aanwinsten, 1910, I : No.79). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-130-4).
- (20) 拙著『日蘭貿易の史的研究』（吉川弘文館、平成16年）83～84頁参照。
- (21) 片桐一男『阿蘭陀通詞の研究』（吉川弘文館、昭和60年）259頁参照。
- (22) 「荷包鉛」の数量をみると、「浮世目録」では記載されていないが、「天保目録」では記載されている。「荷包鉛」は染織品の包装に用いられた鉛が荷ほどきされた後に残ったものである。したがって、荷ほどきされなければどれだけの量になるかわからないため、「提出送り状」に数量は基本的に記されず、記されても'een partij'（一山）などとある程度である。天保15年の「提出送り状」に数量は記されていない。このことから「天保目録」は荷ほどき後に記録された可能性が高いといえよう。
- (23) 「長崎御役所留 上」（国立公文書館所蔵内閣文庫）。
- (24) 中田易直・中村質校訂『崎陽群談』（近藤出版社、昭和49年）305頁参照。
- (25) 註（14）参照、49頁。
- (26) 註（15）参照、94頁。
- (27) 註（15）参照、238頁。
- (28) 註（16）参照、229頁。
- (29) 註（16）参照、231頁。
- (30) 註（24）参照、311～312頁。
- (31) 山脇悌二郎『長崎のオランダ商館』（中央公論社、昭和55年）194頁参照。呉秀三訳註『シーボルト日本交通貿易史』（雄松堂書店、昭和41年）225～226頁参照。永積洋子「オランダ商館の脇荷貿易について－商館長メイランの設立した個人貿易協会（1826－1830年）－」（『日本歴史』第379号、昭和54年）

85頁参照。拙稿「賃借人の登場－近世後期におけるオランダ船脇荷貿易システムの改変とその実態－」（『洋学』第23号、平成28年）5頁参照。

- (32) J. A. van der Chijs 著・小暮実徳訳『シェイス オランダ日本開国論』（雄松堂出版、平成16年）354～358頁参照。
- (33) Opgave van door den pachter der kambanghandel op Japan mede te nemene goederen voor den jare 1844. Ingekomen stukken 1844. MS. N.A. Japans Archief, nr. 1878 (Aanwinsten, 1910, I: No.20). (Tōdai-Shiryō Microfilm: 6998-1-122-3).
- (34) Opgave (申告書) にはもう一点、Tweede opgave der ondervolgende goederen die de ondergeteekende verzoekt voor den kambang handel op Japan dit jaar te mogen medenemen. Ingekomen stukken 1844. MS.N.A. Japans Archief, nr.1878 (Aanwinsten, 1910,I: No.20). (Tōdai-Shiryō Microfilm: 6998-1-122-3) があり3品目記されている。なお、管見の限り天保15年の脇荷物に関する他の史料としては、前年に日本側からオランダ側に発注された阿蘭陀通詞作成のリスト De eisch van de Kambang goederen voor het aanstaande handeljaar 1844 (来る貿易年度1844年用のカンバン荷物 (= 脇荷物) に関する注文書) がある。本リストは数量を記さず器物と皮革類のみ記した簡略なリストである。(表11)
- (35) 例えば、訛物のリストおよびその翻訳リストにおいても、天保5年 (1834) 以降簡略に記す傾向がめだっている。(前掲拙著『日蘭貿易の構造と展開』141頁および第3部参照)
- (36) 前掲拙稿「賃借人の登場－近世後期におけるオランダ船脇荷貿易システムの改変とその実態－」7頁参照。Kontrakt onder nadere goedkeuring der Regering gesloten tusschen den Directeur van 's lands Producten en Civiele Magasijnen namens het Gouvernement en de Koopliden S. van Basel Toelaer en C.<sup>o</sup> krachtens de autorisatie verleend bij Resolutie van den 23<sup>e</sup> Meij 1835 N<sup>o</sup>. 1. [Japan Portefeuille N<sup>o</sup>. 33. 1835] MS. N.A. Japans Archief, nr. 1456 (K.A. 11809). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-85-3). 1844年の脇荷貿易にかかわる契約書は未詳であるが、1842年や1852年の脇荷貿易にかかわる契約書でも賃借人の脇荷取引以外での取引に関する規定が記されている。また、後年の安政3年 (1856) においても、脇荷物の中には脇荷取引以外の品々の取引合計が脇荷物全体の取引の36%弱を占めている (拙稿「幕末開国期における日蘭貿易－安政3年 (1856) の本方荷物と脇荷物の取引－」『鶴見大学紀要』第51号第4部、平成26年、41頁参照)。
- (37) 前掲拙稿「賃借人の登場－近世後期におけるオランダ船脇荷貿易システムの改変とその実態－」12頁参照。
- (38) 岩生成一『明治以前洋馬の輸入と増殖』江戸時代日蘭文化交流資料集 (一) (日蘭学会、昭和55年) 17頁参照。
- (39) 「御内用方諸書留」(長崎歴史文化博物館収蔵)。前掲拙著『日蘭貿易の構造と展開』101頁参照。
- (40) 拙稿「幕末期のオランダ船「訛物」輸入について－天保15年

表 11 天保 15 年 (1844) 向け脇荷物の注文

原 文	拙 訳
De eisch van de Kambang goederen voor het aanstaande handeljaar 1844	来る貿易年度 1844 年用のカンバン荷物 (= 脇荷物) に関する注文書
beste geslepenne dikke likeurflessen, groot, middelbaar en klein.	最上のカットガラスのずんぐりしたりキョール瓶、大・中・小。
medicijn flessen van wijden mond, de diameter des monds: van 3 tot 4 duimen: de hoogte: van 7 tot 8 duimen.	口径 3 ～ 4 ダイムで高さ 7 ～ 8 ダイムの広口の薬瓶。
blauw en rood gedrukte langwerpige schotel.	青色と赤色に焼き付けされた細長い鉢。
" " " kopjes zonder handvat.	青色と赤色に焼き付けされた取っ手のついていないカップ。
" " " schotels van 3 en 4, 5 duimen.	青色と赤色に焼き付けされた 3, 4, 5 ダイムの鉢。
vergulde witte porseleinen borden langwerpige vierkantig en ovaal, de diameter van 7 tot 8 duimen.	細長、四角形、楕円形 of 金メッキ (の縁取り) された白色の磁器の皿、直径 7 ～ 8 ダイム。
horologies veeren en platen, groot, middelmatig en klein.	時計の発条と文字盤、大・中・小。
gekleurde en gedrukte lederen: best van soort.	色つきと打ち出し模様の付いた皮、最上種。
goud lederen van kleine figuren, beste soort.	小さい模様の金唐皮、最上種。
De bovenstaande kambang goederen moeten beste soort uitgekozen, in het aanstaande jaar herwaarts aangebragt worden zonder in gebreken te blijven.	上記のカンバン荷物 (= 脇荷物) は、最上種の物を選び、来年こちら (日本) に必ず持ってこなければならない。

出典・De eisch van de Kambang goederen voor het aanstaande handeljaar 1844. Verslag 1843. MS. N. A. Japans Archief, nr. 1718 (Aanwinsten, 1910, I : No. 78). (Tōdai-Shiryō Microfilm: 6998-1-130-3).

- (1844) を事例として－」（『鶴見大学紀要』第45号第4部、平成20年）、後に前掲拙著『日蘭貿易の構造と展開』第2部第3章に収録。
- (41) De eisch van zijn Majesteit den Keizer en verdere Heeren voor het aanstaande jaar 1844. MS. N.A. Japans Archief, nr.1718 (Aanwinsten, 1910, I : No.78). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-130-3).
- (42) 1844年向けの長崎地役人の注文品を記した注文書が別に存在していたか否かについては未詳である。
- (43) Factuur 1844. MS. N.A. Japans Archief, nr.1738 (Aanwinsten, 1910, I : No.107). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-131-6).
- (44) Opgegeven Nieuws, Facturen en Monsterrol 1844. MS. N.A. Japans Archief, nr.1749 (Aanwinsten, 1910, I : No.118). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-131-17).
- (45) Bijlaag N<sup>o</sup>. 3. Verkoop rekening van de eisch goederen dit jaar voor den Keizer aangebragt. (Komp.<sup>s</sup> rekening courant 1844.) MS. N.A. Japans Archief, nr.1803 (Aanwinsten, 1910, I: No. 170). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-133-18).
- (46) Bijlaag N<sup>o</sup>. 1. Lijst der eischgoederen A.<sup>o</sup> 1844. (Kambang rekening courant 1844.) MS. N.A. Japans Archief, nr.1878 (Aanwinsten, 1910, I : No. 256). (Tōdai-Shiryō Microfilm: 6998-1- 135-5).
- (47) 「天保十三寅年ヨリ 御用方諸書留」(長崎歴史文化博物館収蔵)。
- (48) 註 (18) 参照。
- (49) 前掲拙著『日蘭貿易の構造と展開』138頁参照。
- (50) 同上、334～338頁参照。



表 12 天保 15 年 (1844) 御用書籍・天文方願請之分

書 籍 名 (原文)	冊 数	価 額 ( <small>タール</small> )	書 籍 名	部数・冊数	価額(銀)
御用書籍 Merkes Beoefende Vestingbouw	2 d.	30.	フルステルキング スキュンスト 但軍術書	1 部但 2 冊	300 目
Savart Verderschansing en vestingbouw	2 d.	30.	ハスチング ボウキョウテ 但砲築方書	1 部但 2 冊	300 目
handleiding Exercetien met geschut	1 d.	2.	エキセルセチーン 但軍術書	小 1 冊	20 目
Busscher artillerie	3 d.	26.	ビュスセルアルテリリー 但砲術書	1 部但 3 冊	260 目
Pasteur Ingenier	3d.	32.	ハント ブックホルデ' ニンゲ' ニウ 但兵書	1 部但 3 冊	320 目
handboek kanoniers	2 d.	8.	ハントブ ッキホルカニール 但砲術書	1 部但 2 冊	80 目
Seeling onderwijs artillerie	1 d.	20.	ベウキョウテ' ルラステンホルアルテ リリステン 但砲術用重荷持運之 事記たる書	1 部但 1 冊	200 目
Van der meulen artillerie	1 d.	16.	ベ' イダ' ラーゲ' ントトデ' アルテリ リー 但砲術書	1 部但 1 冊	160 目
Fosse Verklaarde Vragen Veldverschansching	1 d.	2.	フカラルデ' フラーゲ' ン 但軍術書	1 部	20 目
Obrein Scheepsbouw	2 boeken	30.	シーブ' スボ' ウキョウテ 但船造書 船打建之図	1 部 1 冊	300 目
				ノ	1 貫 960 目
天文方願請之分 Conlagie handboek der Barogie en delapie	2 d.	40.	コンラジ' -ハントブ' ックテ' ルハロー ギ' -エンデ' ラビ' - 但醫書	1 部但 2 冊	400 目
Indische magacein	2 d.	4.	インヂーセマガセイ 但噺書	2 冊	40 目
Beelverds ontleedkunde	2 d.	28.	アルゲ' メーオントレートキョウデ' 但解体書	1 部但 2 冊	280 目
Merkwaardigheden der Vier Wereld deelen	4 d.	30.	メルクワールデ' クヘーデ' ン 但四大奇著し事を 記たる書	1 部但 4 冊	300 目
Most Geneeskunde	7 d.	120.	モストグーネスキョウデ' オールデ' ンブ ック 但なし	1 部但 7 冊	1 貫 200 目
				ノ	2 貫 220 目

出典・「天保十三寅年ヨリ 御用方諸書留」(長崎歴史文化博物館収蔵)。

- (51) 中村質「オランダ通詞の私商売－橋林家「諸書留」を中心に－」(中村質編『開国と近代化』吉川弘文館、平成9年)83頁参照。

- (52) また、本文に掲げた「御用方諸書留」には、

天保十五年
御用書籍代銀帳
辰九月 橋林鐵之助

および、

天保十五年
付紙 天文方御願請之分
阿蘭陀書籍代銀帳
辰九月 橋林鐵之助

の表題をもつリストが記されており、これらを表に示せば表12のようになる。ここに記されている書籍類は、出島商館員等が所持していたものを日本側が購入したものと思われ、第

3章で考察した脇荷貿易賃借人が持ち渡った脇荷物の中のboeken(書籍類)も含まれていたと考えられる。「御用方諸書留」の弘化2年9月26日の記事に、輸入書籍の「御用并天文方願請之分」の代銀帳2冊が長崎会所元方に渡ったことが記されており、そこには合計銀額として下記のようにある。

二口合

一、銀五貫八百七拾目

内訳

壹貫六百五拾目 へとる

(阿蘭陀通詞)

七百目 でをるふ 小川聞掛り

(阿蘭陀通詞)

貳貫貳拾目 でるふらつと 橋林・岩瀬聞掛

貳百目 ばすれ

壹貫三百目 らんけ

ノ如高



内訳にあるように、輸入書籍は、へとる（Feitor次席商館長、J. P. Borst）、でるふ（商館員A. J. J. de Wolff）、でるふらつと（脇荷貿易賃借人 J. C. Delprat）、ばすれ（商館員J. A. G. A. L. Bassle）、らんけ（商館員P. J. Lange）のオランダ人5人からの購入品であることがわかる。このうち、脇荷貿易賃借人が輸入書籍を2貫20目で販売している。おそらく天保15年の場合もこのような形で輸入書籍がオランダ側から日本側に購入されたと推測される。

さらに、「御用方諸書留」により、天保15年にオランダ側から購入されたものとして、老中水野越前守が「所望」した「角口薬入 壺」があった。これは、「船頭阿蘭陀人所持」のものであり、「代銀百目」で購入されている。

- (53) 1845年向け、1846年向け、1850年向け、1853年向け～1857年向けの長崎地役人の注文品を記した注文書は現存している。しかし、1845年～1857年の詔物（注文品）を記した「送り状」には長崎地役人（阿蘭陀通詞は除く）の注文品の記事は見当たらない。
- (54) 前掲拙稿「賃借人の登場－近世後期におけるオランダ船脇荷貿易システムの改変とその実態－」20頁参照。
- (55) 天保15年の脇荷物や詔物の取引でも取引総額は決められていたと考えられる。

[付記 1]

本稿のオランダ語表記については、東京大学史料編纂所共同研究員イサベル・田中・ファンダーレン氏に校閲頂きました。また、本稿作成に際しては、鶴見大学実習助手戸田さゆり氏に協力頂きました。記して深甚なる謝意を表します。

[付記 2]

本稿は、JSPS科研費26370803の助成を受けたものです。